

Iwami Art Museum

令和4
[2022]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2022- March 2023

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	9
コレクション展	16
その他の展覧会	23
ミュージアム	24
教育普及活動	26
新聞・雑誌への寄稿	29
ボランティア	30
各種割引	31
所蔵作品一覧	35
新収蔵作品一覧	55
所蔵作品貸出実績	56
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	57
収支概要	58
島根県芸術文化センター条例	59
島根県立石見美術館管理規則	64
施設概要	67
運営組織体制	70
利用案内	71

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域にはぐくまれてきた文化を大切にしながら、地域とともに新しい芸術文化を育むとともに、その創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	竹久夢二と乙女たち あこがれの美人、ときめきのモダンライフ	令和4年4月9日～5月30日
	美術館前室、 展示室A・B・C	平川紀道・野村康生 既知の宇宙 未知なる日常	令和4年7月2日～8月29日
	展示室D・C	交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー	令和4年9月17日～11月28日
特別展	展示室D	松江泰治 JP-32	令和4年7月23日～8月29日
	美術館前室、 展示室B	追悼 森英恵	令和4年12月22日～令和5年1月29日
	美術館前室、 展示室A・B・C	受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事	令和5年2月4日～4月3日
コレクション展	展示室A	石見ゆかりの洋画家たち	令和4年4月13日～6月20日
		没後100年記念 森鷗外とゆかりの画家たち	令和4年11月23日～令和5年1月29日
	展示室B	根付 超絶技巧!	令和4年4月27日～6月20日
		ラウル・デュフィ	令和4年11月3日～12月19日
	展示室C	かたちを描く 抽象的に／具象的に	令和4年4月28日～6月20日
展示室D	屏風の魅力	令和4年6月22日～7月17日	
その他の展覧会	展示室D	第55回島根県総合美術展(県展)移動展	令和4年12月15日～12月18日

※展示室A：令和4年8月30日～11月22日までメンテナンスのため閉室

※展示室B：令和4年8月30日～11月2日までメンテナンスのため閉室

※展示室C：令和4年11月29日～令和5年2月3日までメンテナンスのため閉室

※展示室D：令和4年12月19日～令和5年3月31日までメンテナンスのため閉室

企画展 竹久夢二と乙女たち —あこがれの美人、ときめきのモダンライフ—



ポスター



会場



スペシャルギャラリートーク

展覧会名：企画展 竹久夢二と乙女たち —あこがれの美人、ときめきのモダンライフ—
会 期：令和4年4月9日(土)～5月30日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット] 一般／900円

* ()内は20名以上の団体料金

*小中高生の学校利用は入場無料

*各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者は1名まで入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、BSS山陰放送、中国新聞社

後 援：芸術文化とふれあう協議会

特別協力：竹久夢二文学館神戸文庫有限公司

企画協力：株式会社アートワン

内 容

明治時代末から昭和時代初期にかけて一世を風靡した竹久夢二の美人画に加え、楽譜や雑誌の表紙や書籍の装幀などグラフィックデザイナーとしての仕事にも注目した展覧会。あわせて、夢二と同時代、あるいは彼の後を追った画家たちによる美人画や雑誌挿絵、少女をターゲットとしたグッズなど、大正・昭和の「かわいい」ビジュアルイメージを一堂に集め展示した。

2020年春に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止とした企画展の、満を持しての開催となった。NHK(松江放送局)の生中継をはじめ、取材依頼も多かった。よく知られた個人コレクションの紹介であったが、当館の所蔵作品からも大型の美人画や、夢二が手がけたグラフィックデザインを出品し、石見美術館らしい内容となった。

新聞、雑誌掲載

『版画芸術』No.194 12月1日 展覧会関連記事

『さんいんキラリ』冬春号1月12日 展覧会告知記事

朝日新聞4月9日 展覧会紹介記事

中国新聞4月13日 川西 由里 寄稿

中国新聞4月14日 川西 由里 寄稿

中国新聞4月15日 川西 由里 寄稿

中国新聞4月16日 川西 由里 寄稿

中国新聞4月17日 川西 由里 寄稿

山陰中央新報4月17日 展覧会開催記事

毎日新聞4月30日 展覧会紹介記事

読売新聞5月25日 展覧会紹介記事

中国新聞5月6日 展覧会紹介記事

『藝術家』2022年6月号 趙 宜恬 寄稿

印 刷 物

先行告知ツール(割引券付きしおり) 2種

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A3二つ折

子どものための鑑賞ガイド：210×210mm 3つ折

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



グラントワ・レトロ横丁



グラントワ・レトロ横丁



ミュージア vol.17

関連事業

スペシャルギャラリートーク

本展出品作品を蒐集した中右氏ご本人による、コレクターならではのエピソードをまじえたギャラリートーク。ユーモアのある語り口で、夢二や作品への愛着が語られ好評だった。

講師：中右 瑛(竹久夢二文学館神戸文庫 主宰)

日時：4月9日(土) 11:00~12:00

会場：展示室D

参加者：21名

グラントワ・レトロ横丁

企画展にちなんで「大正・昭和レトロ」をテーマとしたイベント。人力車体験、レトロモダンヘアメイク体験、風呂敷ワークショップ、レトロなフード、スイーツの販売(感染症拡大防止のためテイクアウトのみ)などが楽しめた。有料ブース利用1会計につき1枚もらえる「夢二切符」を3枚集めると展覧会を無料で観覧できる企画が好評だった(利用者107名)。

日時：5月1日(土) 10:00~14:00

会場：中庭広場ほか

参加者：3,000名

MUSEUM×THEATER：ミュージア vol.17 コンサート「夢二の見た夢、その淡い」

出演：吉川 真澄(ソプラノ)、水戸 見弥子(ピアノ)、平野 一郎(作曲)

日時：5月28日(土) 14時開演

会場：多目的ギャラリー

参加者：31名

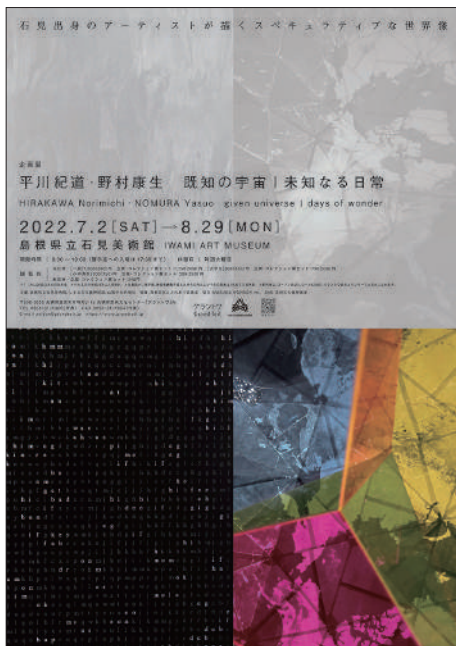
※詳細は「ミュージア(24ページ)」に記載

ギャラリートーク

日時：4月24日(土)、5月4日(日)、8日(日)、15日(日) いずれも14:00~

参加者：83名

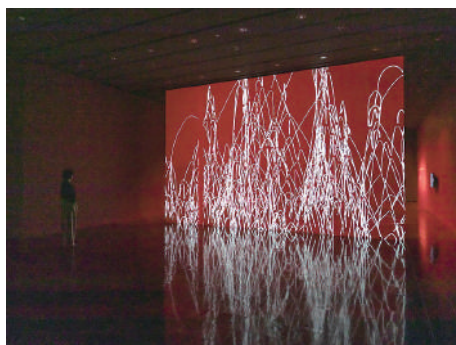
企画展 平川紀道・野村康生 既知の宇宙 | 未知なる日常



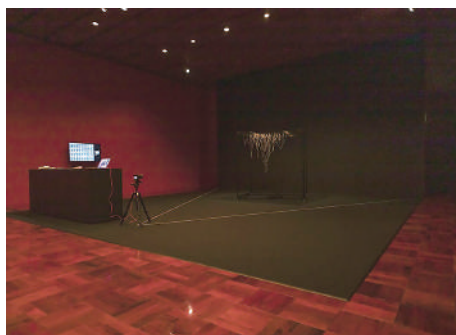
ポスター



共同制作(ワークショップの成果品)



共同制作(映像)



共同制作(来場者参加スペース)

展覧会名：企画展 平川紀道・野村康生 既知の宇宙 | 未知なる日常

会 期：令和4年7月2日(土)～8月29日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット] 一般／900円

* ()内は20名以上の団体料金

* 小中高生の学校利用は入場無料

* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者は1名まで入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、中国新聞社

助 成：芸術文化振興基金

後 援：芸術文化とふれあう協議会

内 容

国内外で活躍する石見出身の若手現代アーティスト、平川紀道と野村康生の2人展。出身地と世代だけでなく、アートとサイエンスをまたぐ領域で制作するという共通点を持つ2人が、それぞれの新作をインスタレーション形式で発表。さらに共同プロジェクトも手掛けた。当館としては初めての、新作インスタレーションのみで構成した企画展となった。

会場は展示室A、B、C に設定し、それぞれの部屋の特性を生かした展示とした。野村は益田市内の内田交流センター体育館にて滞在制作を行い、展示室Cに大型の作品《InsideOut》を組み上げた。平川は事前に石見で撮影や素材の収集を行い、2つの映像インスタレーション《(non) semantic process》、《sunlight spectrum sonification》と、4点組の平面作品《TRAPPIST-1》を発表した。また、共同プロジェクトとして、2人の母校である益田高校の生徒とのワークショップで制作した作品と、同じ仕組みを用いて来場者が手を加えて変化する実験的な作品も発表した。

気鋭のアーティストが地域に密着して行った制作として、地元メディアだけでなく専門家からも注目され、レビューも多く執筆された。展覧会終了後、展示風景写真を収録した記録集を刊行した。

出品作品

- 1 平川紀道《ひもと重力による構造形成》| 野村康生《力が生まれるところ》
映像、液晶ディスプレイ、カメラ、コンピューター、スチール、パラコード、安全ピン
- 2 平川紀道《(non) semantic process》 コンピューター、液晶ディスプレイ、木
- 3 平川紀道《TRAPPIST-1》インクジェット・プリント
- 4 平川紀道《sunlight spectrum sonification》コンピューター、DLPプロジェクター、スピーカー、オーディオ・インターフェース
- 5 野村康生《InsideOut》ポリカーボネート、ミラーフィルム、カーボンチューブ、LED照明、回転機構、木材、メディアプレーヤー、スピーカー、送風機、暖房機、アロマディフューザー、他

*1の作品は平川紀道と野村康生の共同制作によるもので、同一作品にそれぞれが作品名を設定した。

新聞、雑誌掲載

- 山陰中央新報6月14日 展覧会紹介記事
- 山陰中央新報7月2日 展覧会紹介記事
- 朝日新聞7月8日 関連プログラム取材記事
- 山陰中央新報7月10日 関連プログラム取材記事
- 山陰中央新報7月16日 展覧会紹介記事
- 『さんいんキラリ』夏号7月16日 展覧会紹介記事
- 毎日新聞7月17日 展覧会紹介記事
- 中国新聞7月19日 関連プログラム取材記事
- 山陰中央新報7月19日 関連プログラム取材記事
- 『TOKYO ART BEAT』7月25日 展覧会紹介web記事
- 朝日新聞8月2日 展覧会紹介記事



平川紀道《sunlight spectrum sonification》



野村康生《InsideOut》

山陰中央新報8月7日 川西 由里 寄稿
 山陰中央新報8月9日 川西 由里 寄稿
 山陰中央新報8月10日 川西 由里 寄稿
 山陰中央新報8月11日 川西 由里 寄稿
 Web版『美術手帖』8月18日 展覧会紹介web記事

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A4
 子どものための鑑賞ガイド：444×210mm（Z折り：A5仕上り）
 内覧会案内状：230×115mm
 記録集：A4 18ページ
 （デザイン：すべて益田工房）

関連事業

開幕記念対談 平川紀道×野村康生

出品作家2人による対談。出品作品のコンセプトや、制作にあたっての考え方などを語った。

日時：7月2日(土)14:00~15:30

会場：講義室

参加者：41名(来館24、オンライン17)

食べる瞑想×体験型アートで自分のなかの宇宙と出会う！大人が気付くワークショップ

心理学の研究者3名とともに、瞑想体験を行う前と後でアート作品の受け止め方に変化があるかどうかを体験。参加者からは、様々な発見があったと好評を得た。

講師：野村 康生

北川 智利(吉賀心理学研究所代表、立命館大学客員教授)

高橋 康介(立命館大学総合心理学部教授)

藤野 正寛(NTT コミュニケーション科学基礎研究所リサーチスペシャリスト)

日時：7月9日(土)14:00~16:00

会場：講義室、展示室C

参加者：28名

特別対談1 森田真生×平川紀道

独立研究者で「数学する身体」等の著者である森田真生氏を迎え、アート、宇宙、数学、文学など幅広いトピックについて縦横無尽にトークが展開。対談の内容は『島根県立石見美術館研究紀要』第17号(2023年)に収録した。

日時：7月10日(日)14:00~16:00

会場：講義室

参加者：34名(来館17、オンライン17)

自然の力と高次元！子供たちと作る宇宙のシャボン玉ワークショップ

野村の作品コンセプトである宇宙や高次元について解説した後、紐とシャボン液を使って大きな「バイオン玉」作りに挑戦した。

講師：野村 康生、小林 晋平(東京学芸大学 准教授)

日時：7月18日(月・祝)10:00~12:00

会場：多目的ギャラリー

参加者：15名

特別対談2 内藤廣×平川紀道

建築家で島根県芸術文化センター設計者である内藤廣を迎え、都市、モダニティ、プログラミングなど様々なトピックで対話を行った。

日時：8月11日(木・祝)14:00~15:30

会場：多目的ギャラリー

参加者：75名(来館40、オンライン35)

ギャラリーツアー(学芸員と一緒に作品を体験する会)

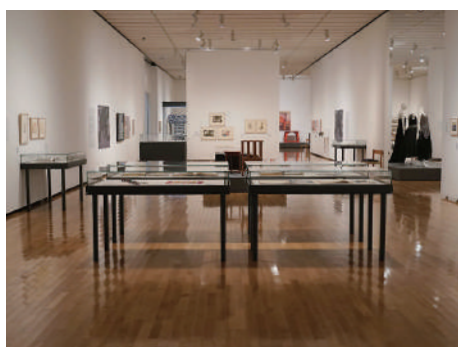
日時：7月31日(日)14:00~15:00

参加者：9名

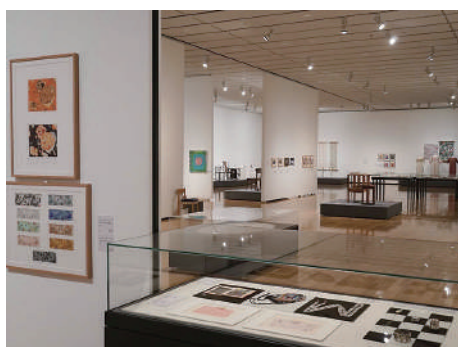
企画展 交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー



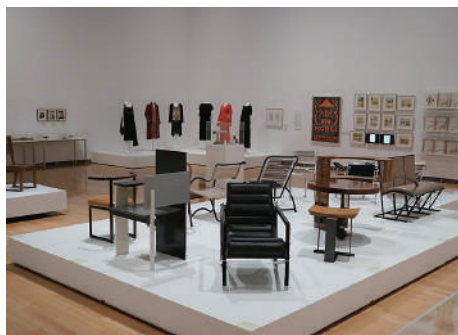
ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー

会 期：令和4年9月17日(土)～11月28日(月)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,200(950)円、企画・コレクション展セット1,350(1,050)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]一般／1,000円

* ()内は20名以上の団体料金

*未就学児入場無料

*小中高生の学校利用は入場無料

*各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者は1名まで入場無料

主 催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、中国新聞社、日本海テレビ

特別協力：東京国立近代美術館、東京藝術大学、ミサワホーム株式会社

協 力：日本航空、ヤマト運輸株式会社

後 援：芸術文化とふれあう協議会

助 成：一般財団法人地域創造

内 容

西欧を中心に日本を含む各地で様々な「モダン」の形が現れた1910～30年代のデザインを紹介する展覧会。機能主義に基づく「モダニズム」と、大衆消費社会の進展に伴う消費換気に効果を果たした装飾は、これまで対立的に語られることが多かったが、実際にはいくつもの容態を含んでグラデーションをなしており、複雑に関係しながら濃密な時代を作り上げていた。本展は豊田市美術館、島根県立石見美術館、東京都庭園美術館の3館のコレクションを核に、約400点の作品からフランス、ドイツ、オーストリア、日本の当時の状況を紹介する展覧会。ファッションとデザイン、ウィーン工房とバウハウスなど、これまでそれぞれに分断されて紹介されてきたジャンルやトピックを横並びで紹介し、それぞれを接続する作家や作例を積極的に拾い上げることで、この時代やこの時代を彩るトピックに新たな視点加わることを期待した。

作家たちの交流や芸術運動の交錯を示すため、展示室内はわざと壁に隙間を開けるなどして作品の背後に関連作品が見えるような工夫を凝らした。

新聞、雑誌掲載

中国新聞9月13日 展覧会紹介記事

山陰中央新報9月21日 展覧会紹介記事

中国新聞9月22日 廣田 理紗 寄稿

中国新聞9月23日 廣田 理紗 寄稿

中国新聞9月24日 廣田 理紗 寄稿

中国新聞9月25日 廣田 理紗 寄稿

中国新聞9月26日 廣田 理紗 寄稿

中国新聞9月28日 関連プログラム広告

読売新聞10月7日 展覧会関連記事

朝日新聞10月10日 展覧会紹介記事

毎日新聞10月14日 展覧会紹介記事

Artscape10月15日 『「モダン」へのパサージュ』武庫川女子大学 松山 聖央 寄稿

中国新聞10月14日 「感覚呼び覚ますモノたち」東京芸術大学 村上 敬 寄稿

中国新聞10月28日 展覧会紹介記事

中国新聞11月12日 展覧会紹介記事

中国新聞11月16日 関連プログラム取材記事

中国新聞11月20日 展覧会関連記事

『さんいんキラリ』秋冬号11月25日 廣田 理紗 寄稿

『美術の窓』12号12月20日 展覧会広告



スペシャルギャラリートーク



ワークショップ

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A3二つ折り
 子どものための鑑賞ガイド：A3 六つ折り
 内覧会案内状：230×115mm
 (デザイン：すべて大西正一)

関連事業

スペシャルギャラリートーク

本展を企画した豊田市美術館と当館の担当学芸員が展覧会の見所をクロストークで紹介した。

ゲスト：千葉 真智子(豊田市美術館 学芸員)

日時：9月17日(土)14:00～

会場：展示室D、C

参加者：14名

MUSEUM×THEATER：ミュージア vol.18音楽会「古典調律で奏でる音楽」

出演：歌島 昌智(ピアノ)、辺見 康孝(ヴァイオリン)、日野 博(ピアノ調律)

日時：令和4年9月23日(金・祝)13時30分開演

会場：スタジオ1

参加者：40名

※詳細は「ミュージア(24ページ)」に記載

きんさい！ グラントワ開館17周年

開館17周年を記念し、プレゼント企画や映画会など全館を会場に様々な催しを実施。市内の飲食店の協力で、3枚集めると観覧無料となる「特典引換券」を配布。街と一体となった盛り上がりを目指した。

日時：10月8～10日(土・日・月祝)

「特典引換券」配布：10月1日から(会期終了まで利用可)

得点引換券利用者：228名

ウィービング・タペストリーを作ろう

出品作品に織り見本が多数あることになみ、卓上織り機を使って織物の基礎が体験できるワークショップを開催した。地元在住の織物・染色作家を講師に、設計図から制作する本格的な催しとなった。

講師：俵 志保(織物・染色作家、俵種苗店店主)

日時：11月6日(日) 10:00～/14:00～

会場：講義室

参加者計：20名

ドレスコードでプレゼント

10月8・9・10日の3日間をのぞく会期中の土・日・祝日(計23日間)に、金色か銀色のアイテムを身につけてご来場の方、各日先着20名に展覧会オリジナルグッズをプレゼントした。

参加者：のべ450名

ギャラリートーク

日時：10月8日(土)、23日(日)、11月3日(木)、20日(日)いずれも14:00～

参加者：のべ68名

その他

ニコニコ美術館

展覧会会場を学芸員が解説しながら生中継するインターネット配信番組。視聴者が番組を見ながらコメントすることもできる。

出演：廣田 理紗(当館主任学芸員)、千葉 真智子(豊田市美術館 学芸員)

日時：9月18日(日)19:00～22:30

会場：展示室D、C(オンラインにより開催)

視聴総数：20,060回

特別展

展示室D 松江泰治 JP-32

会 期：令和4年7月23日(土)～8月29日(月)

内 容：「JP-」シリーズは、写真家・松江泰治が全国の都道府県を空から撮影したもので、「32」は島根県を示す番号である。2018年の企画展「めがねと旅する美術」のために当館から委嘱したシリーズ全40点を収蔵したことを記念し、全ての作品を一堂に展示した。全て島根県内で撮影したものであるが、松江城や出雲大社などの観光地だけでなく、工場や駅、港、農耕地、そしてグラントワなど、地域の人々が身近に接している場所を上空からの視点で切り取った写真は新鮮な驚きをもたらしてくれると好評だった。同時開催の企画展「平川紀道・野村康生」のテーマともリンクしており、この時期は美術館全体が地域に根差した現代美術で埋められることになった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	松江 泰治	JP-32 01	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
2	松江 泰治	JP-32 02	2018年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
3	松江 泰治	JP-32 03	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
4	松江 泰治	JP-32 04	2018年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
5	松江 泰治	JP-32 05	2018年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
6	松江 泰治	JP-32 06	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
7	松江 泰治	JP-32 07	2018年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
8	松江 泰治	JP-32 08	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
9	松江 泰治	JP-32 09	2018年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
10	松江 泰治	JP-32 10	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
11	松江 泰治	JP-32 11	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
12	松江 泰治	JP-32 12	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
13	松江 泰治	JP-32 13	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
14	松江 泰治	JP-32 14	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
15	松江 泰治	JP-32 15	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
16	松江 泰治	JP-32 16	2018年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
17	松江 泰治	JP-32 17	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
18	松江 泰治	JP-32 18	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
19	松江 泰治	JP-32 19	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
20	松江 泰治	JP-32 20	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
21	松江 泰治	JP-32 21	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
22	松江 泰治	JP-32 22	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
23	松江 泰治	JP-32 23	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
24	松江 泰治	JP-32 24	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
25	松江 泰治	JP-32 25	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
26	松江 泰治	JP-32 26	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
27	松江 泰治	JP-32 27	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
28	松江 泰治	JP-32 28	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
29	松江 泰治	JP-32 29	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
30	松江 泰治	JP-32 30	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
31	松江 泰治	JP-32 31	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
32	松江 泰治	JP-32 32	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
33	松江 泰治	JP-32 33	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
34	松江 泰治	JP-32 34	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
35	松江 泰治	JP-32 35	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
36	松江 泰治	JP-32 36	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
37	松江 泰治	JP-32 37	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
38	松江 泰治	JP-32 38	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
39	松江 泰治	IZO 171280	2022年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館
40	松江 泰治	IZO 171323	2021年	発色現像方式印画	島根県立石見美術館



松江泰治展 チラシ

印刷物

展覧会チラシ：A4 4種(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

開幕記念・アーティストトーク

日時：7月23日(土) 14:00~15:30

会場：講義室

出演：松江 泰治

参加者：30名

ギャラリートーク

日時：8月14日(日)、21日(日) いずれも14:00~14:30

参加者：のべ14名

新聞、雑誌掲載

『アートコレクターズ』No.156 3月25日 展覧会広告

山陰中央新報7月24日 展覧会紹介記事

山陰中央新報5月31日 展覧会紹介記事

毎日新聞6月11日 展覧会紹介記事

読売新聞6月26日 展覧会紹介記事

美術館前室・展示室B 追悼 森英恵

会 期：令和4年12月22日(木)～令和5年1月29日(日)

内 容：2022年8月に逝去された島根県吉賀町出身のファッションデザイナー森英恵の追悼展。当館は森氏より、美術館のコレクションの柱のひとつに「ファッション」を加えることとなった1990年代後半から助言をいただいていた。また森氏からは、パリ、オートクチュールで発表した衣装作品を寄贈いただいている。本展では、当館のコレクションから「オートクチュール」「既製服」「出版物」を紹介、また森氏が取り組んだ日本映画の衣装も日々から拝借して展示し、森英恵の仕事を改めてたどる内容とした。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のイブニングコート、ショートドレスのスカート。ショートドレスのトップスは絹サテンと帯地。アンダーウェア付き。	島根県立石見美術館
2	森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付き。	島根県立石見美術館
3	森 英恵	ジャケット、ショート・イブニング・ドレス	1968年 秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織リジャケット。金色の糸で手編みしたドレス。	島根県立石見美術館
4	森 英恵	ジャケット、ディナードレス	1965年 春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット。絹サテンのドレス。ドレスの背には大きなりボン飾り。	島根県立石見美術館
5	森 英恵	カフタン、ドレス「蝶のカフタン」	1976年 春夏	蝶をプリントした絹シフォンを綾絹と重ねたドレス。同柄の絹シフォンのストール付き。	島根県立石見美術館
6	森 英恵	イブニング・ドレス	1976年 春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。	島根県立石見美術館
7	森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン「菊のバジマドレス」	1966年	菊をプリントした綾絹と絹シフォンによるカフタン。同柄の綾絹のジャンプスーツ。ピンク色の絹サテンのベルト付き。	島根県立石見美術館
8	森 英恵	イブニング・ドレス「花の黒いドレス」	1981年	黒い絹クレープのドレス。絹サテンとビーズのアップリケ。	島根県立石見美術館
9	森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのドレス。絹サテンのアップリケとビーズ刺繍。	島根県立石見美術館
10	森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	浮世絵の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのドレス。	島根県立石見美術館
11	森 英恵	ジャケット、スカート「浮世絵のジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年 秋冬	ベージュ色の絹シフォンに浮世絵柄をプリントし、人物柄をビーズ刺繍したジャケット、裾は切りっぱなし。緑と茶、2色のベルベトリボンとピンク色の絹タフタリボンを格子に編んだフレアスカート。	島根県立石見美術館
12	森 英恵	イブニング・ドレス	1999年 春夏	明るいグレーの絹シフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス。	島根県立石見美術館
13	森 英恵	イブニング・ドレス「りんごの花のドレス」	1998年 春夏	りんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン。オーバル型スパンクルを用いた刺繍をあしらった。肩と襟もとに鳥の羽根を用いた飾り。	島根県立石見美術館
14	森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年 春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。同布のストール付き。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはラメ飾り。	島根県立石見美術館
15	森 英恵	イブニング・ドレス、カフタン「黄金色の鶴のドレスとカフタン」	2004年 秋冬	鶴がプリントされた金色の絹サテンのカフタン。同素材でできたベア・トップ(肩や背中などを露出した上着)のロングドレス。	島根県立石見美術館
16	森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年 春夏	銀色バラ柄のレースでできたボレロ。黒と銀のラメジャージでできたショートドレス。裾と胸元にはボレロと同じレース飾り、肩にはダイヤモンドがあしらわれた錫のチェーンストラップ。	島根県立石見美術館
17	森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年 春夏	黒色絹サテンとリバーレースでできたショートドレス。胸元に小花のラメ飾りと、ビーズとスパンクルを用いた刺繍。黒色のホースヘアトリボン状のモチーフを組み合わせたボレロ。	島根県立石見美術館
18	森 英恵	カクテル・スーツ「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年 春夏	白いウールジョーゼットのジャケット、背中にプリーツをいかしたひし形の装飾。ラインストーン付きの飾りピン。白いウールジョーゼットのアコーディオンプリーツのスカート。	島根県立石見美術館
19	森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年 秋冬	黒色ウール地に黒色絹サテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット。黒色ウールのタイトスカート。	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
20	森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント、バンロン加工。ベルト付き。	島根県立石見美術館
21	森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント、バンロン加工。ベルト付き。	島根県立石見美術館
22	森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント、バンロン加工。ベルト付き。	島根県立石見美術館
23	森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント。ベルト付き。	島根県立石見美術館
24	森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント、バンロン加工。ベルト付き。	島根県立石見美術館
25	森 英恵	ビーズで麻の葉柄を刺繍したワンピースドレス(映画『二人の世界』衣装)	1966年	薄桃色の絹にビーズ刺繍したミニワンピース。	日活株式会社
26	森 英恵	熨斗(のし)柄を染めたワンピースドレス(映画『地球40度線 赤道を駆ける男』衣装)	1968年	熨斗柄をプリントした絹のミニワンピース。	日活株式会社
27		「モードの焦点 1」『装苑』1962年1号	1962年		島根県立石見美術館
28		「モードの焦点 8」『装苑』1962年8号	1962年		島根県立石見美術館
29		「モードの焦点 9」『装苑』1962年9号	1962年		島根県立石見美術館
30		「モードの焦点 11」『装苑』1962年12号	1962年		島根県立石見美術館
31	発行： ファッションハウス 森英恵	『森英恵流行通信』1号「私の一日」	1966年 5月10日発行		島根県立石見美術館
32	発行： ファッションハウス 森英恵	『森英恵流行通信』3号「私の一日」	1966年 6月5日発行		島根県立石見美術館
33		ハナエモリ 2004-05秋冬 オートクチュールコレクション	2004年7月	29分	



森英恵追悼展 チラシ

印刷物

展覧会チラシ：A4 4種(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

講演会「わが母・森英恵の思い出」

日 時：1月21日(土) 14:00~15:00

会 場：多目的ギャラリー

出 演：森 顯(一般財団法人ファッション振興財団 理事長)

参加者：72名

ギャラリートーク

日 時：1月7日(土)、29日(日) いずれも14:00~

参加者：のべ41名

新聞、雑誌掲載

山陰中央新報12月2日 展覧会開催紹介記事

朝日新聞12月3日 南目 美輝 寄稿

『美術の窓』12月号 12月20日 展覧会広告

読売新聞12月22日 展覧会紹介記事

山陰中央新報12月23日 展覧会紹介記事

中国新聞12月27日 展覧会紹介記事

『MOE』2月号12月28日 展覧会広告

読売新聞12月28日 展覧会紹介記事

朝日新聞12月31日 展覧会紹介記事

『旅の手帳』2023年2月号1月10日 展覧会紹介記事

毎日新聞1月11日 展覧会紹介記事

中国新聞1月11日 展覧会紹介記事

読売新聞1月14日 展覧会紹介記事

山口新聞1月17日 展覧会紹介記事

朝日新聞1月21日 廣田 理紗 寄稿

山陰中央新報1月22日 関連プログラム取材記事

山陰中央新報2月4日 展覧会関連記事

美術館前室・展示室A・B・C 受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事

会 期：令和5年2月4日(土)～4月3日(月)

内 容：島根県吉賀町出身の彫刻家・澄川喜一は、全国各地で約100点もの野外彫刻を手がけたほか、東京スカイツリー®のデザイン監修をはじめとする都市部の建築分野のデザインや環境造形の仕事を担い、高い評価を受けてきた。その数多くの功績が表彰され、2020年には文化勲章を受賞している。本展は、2020年度、および2021年度に島根県に寄贈された彫刻作品120点のなかから、選りすぐりの彫刻作品を紹介するとともに、作品とあわせて受贈した膨大な作家資料から、野外彫刻のスケッチや図面、下絵やマケット、石膏原型、収集していたものなど、今まであまり表に出てこなかった「澄川喜一の仕事」に着目して紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	裸婦	1958年頃	ブロンズ	島根県立石見美術館
2	澄川 喜一	S君	1959年	ブロンズ	島根県立石見美術館
3	澄川 喜一	Kさん	1960年	ブロンズ	島根県立石見美術館
4	澄川 喜一	無題(スポーツ功労者顕彰記念像)	1978年	ブロンズ	島根県立石見美術館
5	澄川 喜一	MASK	1982年	樟、カラントス	島根県立石見美術館
6	澄川 喜一	フェニックスの翼 A	1982年	ブロンズ	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	MASK	1985年	樟	島根県立石見美術館
8	澄川 喜一	そりのあるかたち 86	1986年	松、樺、鉄板	島根県立石見美術館
9	澄川 喜一	お月さま	1995年	樺、チーク	島根県立石見美術館
10	澄川 喜一	そりのあるかたち 95	1995年	樺	島根県立石見美術館
11	澄川 喜一	そりのあるかたち 97-3	1997年	樺、一位、ステンレス	島根県立石見美術館
12	澄川 喜一	そりのあるかたち	1998年	樺、鉄板	島根県立石見美術館
13	澄川 喜一	そりのあるかたち 4	1999年	樺	島根県立石見美術館
14	澄川 喜一	そりのあるかたち A	1999年	樺、カラントス	島根県立石見美術館
15	澄川 喜一	そりのあるかたち B	1999年	樺	島根県立石見美術館
16	澄川 喜一	そりのあるかたち 01-2	2001年	樺、松、チーク	島根県立石見美術館
17	澄川 喜一	そりのあるかたち 02-1	2002年	樺	島根県立石見美術館
18	澄川 喜一	そりのあるかたち 02-3	2002年	樺、檜	島根県立石見美術館
19	澄川 喜一	そりのあるかたち 03	2003年	樺、檜、ステンレス	島根県立石見美術館
20	澄川 喜一	翔Ⅱ	2005年	神代樺、ステンレス	島根県立石見美術館
21	澄川 喜一	瀧	2005年	杉、樺	島根県立石見美術館
22	澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	神代樺、樺	島根県立石見美術館
23	澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、杉	島根県立石見美術館
24	澄川 喜一	木霊	2007年	檜、樺	島根県立石見美術館
25	澄川 喜一	木霊 B	2008年	檜、カラントス	島根県立石見美術館
26	澄川 喜一	そりのあるかたち 2008	2008年	神代樺、樺、檜	島根県立石見美術館
27	澄川 喜一	翔 A	2008年	神代樺、ステンレス	島根県立石見美術館
28	澄川 喜一	そりのあるかたち 2010	2010年	樺	島根県立石見美術館
29	澄川 喜一	そりのあるかたち a	2010年	樺	島根県立石見美術館
30	澄川 喜一	そりのあるかたち f	2010年	樺	島根県立石見美術館
31	澄川 喜一	そりのあるかたち	2010年	杉、樺	島根県立石見美術館
32	澄川 喜一	そりのあるかたち 2012	2012年	樺	島根県立石見美術館
33	澄川 喜一	そりのあるかたち	2017年	樺	島根県立石見美術館
34	澄川 喜一	門(かんぬぎ)	2018年	樟、樺、杉	島根県立石見美術館
35	澄川 喜一	しかくいお	2020年	樺	島根県立石見美術館
36	澄川 喜一	フェニックスの翼(第39回「2020年日経優秀製品・サービス賞」の記念ブロンズ像)	2020年	金属(ブロンズ)	島根県立石見美術館
37	澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺、杉	島根県立石見美術館
38	澄川 喜一	らふ	2021年	樺	島根県立石見美術館
39	澄川 喜一	SKULL	不詳	カラントス	島根県立石見美術館
40	澄川 喜一	そりのあるかたち	不詳	樺、松	島根県立石見美術館
41	澄川 喜一	MASK	不詳	金属	島根県立石見美術館
42	澄川 喜一	トロフィー	不詳	金属	島根県立石見美術館
43	澄川 喜一	トロフィー	不詳	金属	島根県立石見美術館
44	澄川 喜一	観音菩薩立像	不詳	木	島根県立石見美術館
45	澄川 喜一	そりのあるかたち	不詳	木	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
46	澄川 喜一	翼	不詳	木	島根県立石見美術館
47	澄川 喜一	MASK	不詳	カラントス	島根県立石見美術館
48	澄川 喜一	裸婦像の石膏原型(3点)	不詳(おそらく初期1950年代後半頃)	石膏	島根県立石見美術館
49	澄川 喜一	裸婦像の石膏原型	不詳	石膏	島根県立石見美術館
50	澄川 喜一	《Kさん》の石膏原型	1960年	石膏	島根県立石見美術館
51	澄川 喜一	噴水《うごく城》(山口県山口市・亀山公園)の石膏原型	1989年頃	石膏	島根県立石見美術館
52	澄川 喜一	《金波・銀波》(横浜みなとみらい線馬車道駅)のマケット	2004年頃	ステンレス、金箔	島根県立石見美術館
53	澄川 喜一	肖像彫刻の石膏原型(4点)	不詳	石膏	島根県立石見美術館
54	澄川 喜一	《TO THE SKY》(大分空港)のマケット	1993年	金属	島根県立石見美術館
55	エミリオ・グレコ	裸婦像(澄川喜一収集作品)	不詳	ブロンズ	島根県立石見美術館
56	白井 雨山	獅子舞(澄川喜一収集作品)	不詳	木	島根県立石見美術館
57	澄川 喜一	マケット	不詳	発泡スチロール	島根県立石見美術館
58	澄川 喜一	マケット	不詳	発泡スチロール	島根県立石見美術館
59	澄川 喜一	《TO THE SKY》(新宿モリスビル)のマケット	1990年	木	島根県立石見美術館
60	澄川 喜一	《扇》(井原鉄道井原駅)のマケット	1998年	発泡スチロール	島根県立石見美術館
61	澄川 喜一	マケット	不詳	発泡スチロール	島根県立石見美術館
62	澄川 喜一	《光る風》(JR釧路駅)のマケット	1987年	金属	島根県立石見美術館
63	澄川 喜一	マケット	不詳	発泡スチロール	島根県立石見美術館
64	澄川 喜一	マケット	不詳	発泡スチロール	島根県立石見美術館
65	澄川 喜一	《TO THE SKY》(NTTドコモ代々木ビル)のマケット	2000年	金属	島根県立石見美術館
66	澄川 喜一	鴨池橋竣工記念 横浜鴨池橋モニュメントの模型	1991年	金属	島根県立石見美術館
67	澄川 喜一	《おろち》の原型	不詳	石膏	島根県立石見美術館
68	澄川 喜一	裸婦像	1955年	テラコッタ	島根県立石見美術館
69	澄川 喜一	少女頭部	不詳	テラコッタ	島根県立石見美術館
70	澄川 喜一	裸婦像	不詳	テラコッタ	島根県立石見美術館
71	澄川 喜一	シールドマシンカッタービット	1997年	金属	島根県立石見美術館
72	澄川 喜一	《日・月》/《清瀬の流れ》(清瀬けやきホール)下絵	2010年	紙・額装	島根県立石見美術館
73	澄川 喜一	《TO THE SKY》(東京スカイツリー駅)下絵	2012年	紙・額装	島根県立石見美術館
74	澄川 喜一	《フェニックスの翼》(茶碗・湯呑の絵付)	不詳	陶器	島根県立石見美術館
75	澄川 喜一	墨壺(澄川喜一収集資料)	不詳	木	島根県立石見美術館
76	澄川 喜一	アフリカの仮面(澄川喜一収集資料)	不詳	木	島根県立石見美術館
77	澄川 喜一	アフリカの太鼓(澄川喜一収集資料)	不詳	木	島根県立石見美術館
78	澄川 喜一	アフリカの仮面(タンザニア)(澄川喜一収集資料)	不詳	木	島根県立石見美術館
79	澄川 喜一	モニュメントの下絵(多数)			島根県立石見美術館
80	澄川 喜一	スケッチブック(多数)			島根県立石見美術館
81	澄川 喜一	東京藝術大学 学生時代のノート(数冊)			島根県立石見美術館
82	澄川 喜一	漫画(スクラップブック)			島根県立石見美術館
83	澄川 喜一	野外彫刻(モニュメント)の下絵、スケッチ、図面			島根県立石見美術館
84	澄川 喜一	《TO THE SKY》(東京都・新宿モリスビル)の資料			島根県立石見美術館
85	澄川 喜一	噴水《うごく城》(山口県山口市・亀山公園)の資料			島根県立石見美術館
86	澄川 喜一	《HOP, STEP AND JUMP》(織田幹雄記念碑・広島広域公園)の資料			島根県立石見美術館
87	澄川 喜一	《鷺舞の譜》他(山口県山口市・山口県庁)の資料			島根県立石見美術館
88	澄川 喜一	《TO THE SKY》(島根県益田市・萩石見空港)の資料			島根県立石見美術館
89	澄川 喜一	《TO THE SKY》(大分県・大分空港)の資料			島根県立石見美術館
90	澄川 喜一	鴨池橋(神奈川県横浜市)の資料			島根県立石見美術館
91	澄川 喜一	《青春交響の塔(坂本龍一と高杉晋作の肖像)》(山口県下関市・下関あるかぼーと)の資料			島根県立石見美術館
92	澄川 喜一	《風門》(島根県松江市・島根県立美術館)の資料			島根県立石見美術館
93	澄川 喜一	岩国工業高校時代の絵画			島根県立石見美術館
94	澄川 喜一	澄川喜一使用の木材			個人蔵



澄川喜一展 チラシ

印刷物

ポスター：B2
 チラシ：A4
 内覧会案内状：230×115mm
 子どものための鑑賞ガイド：210×210mm 巻き三つ折り
 澄川喜一寄贈作品集：A4 64頁
 (デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

記念講演会「石のはなし—澄川作品と徳山みかげ」

日 時：2月11日(土・祝) 14:00~15:30

会 場：講義室

講 師：秋元 治隆(黒髪石材株式会社)

参加者：27名

美術講座「澄川喜一の仕事—モニュメントの作り方」

日 時：3月4日(土) 14:00~15:30

会 場：講義室

講 師：的野 克之(当館館長)

参加者：18名

ワークショップ「木でつくる—小さなモニュメント」

日 時：3月18日(土) 14:00~16:00

会 場：講義室

講 師：熊谷 広実(中村木材工業株式会社)

参加者：16名

ギャラリートーク

日 時：2月25日(土)、3月12日(日)、26日(日) いずれも14:00~

参加者：のべ27名

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』12月号12月20日 展覧会開催広告

中国新聞2月4日 展覧会紹介記事(25面、26面)

山陰中央新報2月4日 展覧会紹介記事

朝日新聞2月4日 展覧会紹介記事

読売新聞2月5日 展覧会紹介記事

『美術の窓』2月号2月20日 左近充 直美 寄稿

展示室A 石見ゆかりの洋画家たち

会 期：令和4年4月13日(水)～6月20日(月)

内 容：石見地域、または石見にゆかりのある画家たちのなかで、戦後、独自の芸術を貫き、個性豊かな作品を創り上げた人々の絵画を紹介した。浜田で長らく高校の美術教師を勤め、後進を育てながら絵を描き続けた山崎修二や、終戦後に過酷なシベリア抑留を経験し、後年「寺戸ブルー」と呼ばれる美しい青色で、故郷の海景を描いた寺戸恒晴。父の故郷・津和野を愛し、単なる具象でも抽象でもない独特の世界観を風景画に投影させた喜多村知など、独自性が強く、どこか懐かしさを秘めた優しい画風の絵画を展示した。なお、令和3年度に寄贈された寺戸恒晴作品5点は本展で初公開となった。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	島根県立石見美術館
2	寺戸 恒晴	出雲 小田	1979年	パステル、紙	島根県立石見美術館
3	寺戸 恒晴	石見神楽 蛇頭	1970～80年代	パステル、紙	島根県立石見美術館
4	寺戸 恒晴	武蔵野風景	1950～60年代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	寺戸 恒晴	大山・中海の朝	1988年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	寺戸 恒晴	石見・三隅港	1987年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	島根県立石見美術館
8	須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
9	須田 国太郎	将棋の図1	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
10	須田 国太郎	将棋の図2	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
11	須田 国太郎	源平布引瀧の図	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
12	須田 国太郎	タイトル不詳	制作年不詳	鉛筆、紙	島根県立石見美術館
13	山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
14	山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	山崎 修二	風景	1941年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
17	山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	喜多村 知	滞船	1972年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	喜多村 知	北国の家(北溟随感)	1977年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
20	喜多村 知	北溟随感	1977年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	喜多村 知	津和野雪景色	1946年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
22	中尾 彰	美しき津和野 原画(笛)	不詳	水彩	個人蔵(寄託作品)
23	中尾 彰	美しき津和野 原画(野すみれ)	不詳	水彩	個人蔵(寄託作品)
24	中尾 彰	青野山	不詳	水彩	個人蔵(寄託作品)

展示室A 没後100年記念 森鷗外とゆかりの画家たち

会 期：令和4年11月23日(水・祝)～令和5年1月29日(日)

内 容：2022年が森鷗外の没後100年にあたることを記念し、収蔵作品より鷗外ゆかりの画家の作品や、画家が装幀・挿画を担当した鷗外の著書展示了。パネルや解説によって、森鷗外と明治・大正の美術界との関りについても紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・フォン・マックス	聖女マリア・テレゼ・モールの死	1868年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	原田 直次郎	男児肖像	明治20年代 (1887～98)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、板	島根県立石見美術館
5	黒田 清輝	裸体	明治22年(1899)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	黒田 清輝	ポプラの黄葉(グレーの秋)	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42年 (1908～09)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	猪苗代	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	湖水を望む	明治40年(1907)頃	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	多摩川畔	明治40年(1907)	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	村の寺	明治37年(1904)	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	小林 萬吾	スペイン・グラナダ・アルハンブラ	大正初期頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
15	満谷 国四郎	風景	大正時代中期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
16	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期	油彩、絹本	島根県立石見美術館
17	中村 不折	裸体	明治36～38年 (1903～05)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
18	木下 杢太郎	助六	不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	宮 芳平	風景	大正時代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
20	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
21	和田 英作	風景	大正3年(1914)頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
22	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	大正12年(1923)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
23	藤田 嗣治	青いドレスの女	昭和14年(1934)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
24	平福 百穂	七面鳥・鴨	大正3年(1914)	紙本著色	島根県立石見美術館
25	原田 直次郎	森鷗外ほか「於母影」挿画	明治22年(1889)	『国民新聞』第58号付録	島根県立石見美術館
26	原田 直次郎(画)	『新著百種』第12号 表紙、森鷗外「文づかひ」挿画	明治24年(1891)	書籍	島根県立石見美術館
27	原田 直次郎(画)	『めざまし草』巻之一 表紙	明治29年(1896)	雑誌	島根県立石見美術館
28	原田 直次郎	『めざまし草』巻之十四 表紙	明治30年(1897)	雑誌	島根県立石見美術館
29	原田 直次郎	『めざまし草』巻之五 挿画	明治29年(1896)	雑誌	島根県立石見美術館
30	長原 孝太郎(画)	『めざまし草』巻之六、九 裏表紙	明治29年(1896)	雑誌	島根県立石見美術館
31	森 鷗外(著)、長原 孝太郎(装幀)	『玉匣両浦島』	明治35年(1902)	書籍	島根県立石見美術館
32	森 鷗外(訳)、藤島 武二(装幀)	ハウプトマン作『寂しき人々』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
33	森 鷗外(訳)、藤島 武二(装幀)	翻訳小説集『蛙』	大正8年(1919)	書籍	島根県立石見美術館
34	大下 藤次郎(著)	『水彩画の菜』(森鷗外「題言」掲載)	明治34年(1901)	書籍	島根県立石見美術館
35		『大下藤次郎遺作集』(森鷗外「大下藤次郎年譜」掲載)	大正元年(1912)	書籍	島根県立石見美術館
36	森 鷗外(訳)、中村 不折(装幀)	翻訳戯曲集『人の一生 飛行機』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
37	森 鷗外(訳)、平福 百穂(装幀)	『涓滴』	明治43年(1910)	書籍	島根県立石見美術館
38	森 鷗外(訳)、木下 杢太郎(装幀)、和田 英作(挿画)	ゲーテ作『ギョッツ』	大正5年(1916)	書籍	島根県立石見美術館
39	森 鷗外(著)、橋口 五葉(装幀)	『塵泥』	大正4年(1915)	書籍	島根県立石見美術館
40	森 鷗外(著)、橋口 五葉(装幀)	『青年』	大正2年(1917)	書籍	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
41	森 鷗外	大下藤次郎宛書簡(『水彩画の葉』題言草稿)	明治34年(1901)	墨、紙	島根県立石見美術館



チラシ

印刷物

展覧会チラシ：A4(デザイン：野村デザイン制作室)

関連事業

MUSEUM×THEATER：ミュージア vol.19

「朗読の夕べ 文学と美術のあわいに」

出演：佐々木 望(声優)、美留町 義雄(大東文化大学教授)、川西 由里(当館専門学芸員)

日時：令和4年11月26日(土) 18時30分開演

会場：展示室A

参加者：50名

※詳細は「ミュージア(25ページ)」に記載

新聞、雑誌掲載

朝日新聞10月22日 川西 由里 寄稿

山陰中央新報11月24日 展覧会紹介記事

『さんいんキラリ』秋冬号11月25日 展覧会紹介記事

新美術新聞2022年12月・11日合併号 川西 由里 寄稿

展示室B 根付 超絶技巧!

会 期：令和4年4月27日(水)～6月20日(月)

内 容：男性が留め具として使用した根付には驚くほど細かい文字や動物、植物が彫られている。匠たちの超絶技巧の技を根付や印籠を展示して紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	富春	亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
2	可専	亀	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
3	富春	蓮葉に蕨亀	寛政4年(1792)	鯨歯	島根県立石見美術館
4	富春	亀	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
5	伝 富春	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
6	文章	猪牙に忍草と蜘蛛	文政12年(1829)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
7	文章	猪牙に百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
8	文章	鮑に蟹	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
9	文章	流木に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
10	伝 文章	猪牙に鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
11	巖水	忍草に蜘蛛	19世紀	象牙	江津市(七田真コレクション)
12	伝 巖水	雪松に鹿	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
13	貫満	和歌に蜘蛛	文政4年(1821)	象牙	江津市(七田真コレクション)
14	貫満	稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田真コレクション)
15	素龍	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
16	我補	猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田真コレクション)
17	廣花堂	猪牙に忍草と蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
18	作者不詳	猪牙に忍草と蟹	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
19	直人	蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田真コレクション)
20	作者不詳	枝に蟬	18～19世紀	黒檀	江津市(七田真コレクション)
21	利治	竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
22	作者不詳	流木に蟹	18世紀	黒柿	江津市(七田真コレクション)
23	白龍	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
24	作者不詳	蓮葉に蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
25	葛刈	蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
26	伝 富春	葡萄に栗鼠	18～19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
27	富春	鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
28	富永	猪牙に蜘蛛	19世紀	猪牙	島根県立石見美術館
29	龍水	牛	18～19世紀	黒檀	島根県立石見美術館
30	作者不詳	猪牙に蜘蛛	18～19世紀	猪牙	島根県立石見美術館

新聞掲載

中国新聞5月19日 展覧会紹介記事

展示室B ラウル・デュフィ

会 期：令和4年11月3日(木・祝)～12月19日(月)

内 容：画家として知られるフランス人アーティスト、ラウル・デュフィのテキスタイルや版画の仕事を紹介。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ペリカン」	1912～13年	綿にプリント	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「蝶々と花」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「ボントン」	1920年	紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「幾何学的な花」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「ばら」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「パステル色の花」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「柵」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「網目」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「バラと花々」		紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「狩り」	1912年	カンヴァス地にプリント	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「アメリカの果物または帆船」	1919年頃	カンヴァス地にプリント	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「アルファベットと花」	1922年	絹にプリント	島根県立石見美術館
13	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「海・馬・鯨・貝殻」	1924年	絹サテン・クレープの模様織り	島根県立石見美術館
14	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「オレンジとなでこ」	1927年	絹にプリント	島根県立石見美術館
15	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ダンス」	1914年	カンヴァス地にプリント	島根県立石見美術館
16	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ドーヴィルまたはレガッタ」	1925年頃	絹グログランに海辺のシーンをプリント	島根県立石見美術館
17	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「チューリップ」	1914年	紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
18	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「チャーリー・チャップリン」	1920年頃	紙にレリーフプリント	島根県立石見美術館
19	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「蝶々」		紙にグアッシュ	島根県立石見美術館
20	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「ヨーロッパの果物」	1919年	絹ジャガード	島根県立石見美術館
21	ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル「貝殻」	1926年頃	絹にプリント	島根県立石見美術館
22	ラウル・デュフィ	『ガゼット・デュ・ボン・トン』より夏のドレス 1920	1920年第4号	ポショワール版画、紙	島根県立石見美術館
23	作詩：ステファン・マラルメ 画：ラウル・デュフィ	『マドリゴー』	1960年	リトグラフ、ポショワール	個人蔵

展示室C かたちを描く 抽象的に／具象的に

会 期：令和4年4月28日(木)～6月20日(月)

内 容：今回は「かたち」の表現に目を向け、当館のコレクションから明治期以降に制作された油彩画や、彫刻作品を展示した。見えるとおりに再現する具象的な表現を追求したもの、再現的な表現に飽き足らず、当時の最新の美術の動向を吸収して制作されたもの、さらにまた、あるもののかたちを写すのではなく、点や線、面、色そのものの造形的なおもしろさや美しさなどを表したものなど、いくつかの切り口で紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	島根県立石見美術館
3	満谷 国四郎	風景	1910年代	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち83	1983年	櫨、松	島根県立石見美術館
7	澄川 喜一	そりのあるかたち04	2004年	櫨、ステンレス	島根県立石見美術館
8	岩本 拓郎	無題	1978年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	岩本 拓郎	無題	1979年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	堂本 尚郎	宇宙I	1978年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室D 屏風の魅力

会 期：令和4年6月22日(水)～7月17日(日)

内 容：屏風に着目し、画題や技法について紹介した。当館で最も広い展示室Dを会場とすることで、大画面の迫力を感じてもらう構成とした。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	長谷川派	武蔵野図	桃山～江戸時代初期	紙本金地着色、六曲一双	島根県立石見美術館
2	雲谷 等益	山水図	江戸時代初期	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
3	作者不詳	人麻呂図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
4	岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	嘉永元年(1848)	紙本墨画淡彩、六曲一双	島根県立石見美術館
5	三浦 紫暉	孔雀図	天保四年(1833)	紙本着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
6	横山 華山	龍虎図	江戸時代後期	紙本墨画、六曲一双	島根県立石見美術館
7	小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色、六曲一双	島根県立石見美術館

第55回島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：令和4年12月15日(木)～12月18日(日)

会 場：展示室D

主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体



「夢二の見た夢、その淡い」

ミュージア

平成29年度より、島根県立いわみ芸術劇場とともに島根県芸術文化センター「グラントワ」を形成する当館の持ち味をいかす事業として、「Museum×Theater:ミュージア」と題した、劇場と美術館との連携事業を開始した。

令和3年度の事業としては、以下の3事業を実施した。

MUSEUM×THATER:ミュージアvol.17 コンサート「夢二の見た夢、その淡い」

企画展「竹久夢二と乙女たち」の関連プログラムとして開催。企画展に「セノオ楽譜」など夢二が表紙を手がけた楽譜が多数展示されていることから、それらの楽曲を演奏によって表現するために企画した。吉川氏の提案により、グラントワと吉川氏から平野一郎氏への共同委嘱という形で、詩人でもあった夢二の詩に書き下ろされた組曲「ゆめぢのうた」も上演。壁面にスライド投影された作品の前で、伸びやかなソプラノと迫力あるピアノ演奏によって、まさしく「夢二の見た夢」が立ち現れた。

日 時: 令和4年5月28日(土) 14時開演

会 場: 多目的ギャラリー

料 金: 一般1,500円、会員1,000円

出 演: 吉川 真澄(ソプラノ)、水戸 見弥子(ピアノ)、平野 一郎(作曲)

参加者: 31名



チラシ

MUSEUM×THATER:ミュージアvol.18 音楽会「古典調律で奏でる音楽」

1910-30年頃のデザインの動向を取り扱った企画展「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展の関連プログラムとして開催。展覧会で扱った時代には、ピアノが現代とは異なる調律(総称して「古典調律」と呼ばれる)で演奏されていた。2台のピアノとオルガンを用地、この頃にアーティストたちが耳にしていたであろう音色を再現したり、現代の調律での演奏と聴き比べるなどした。

第1部では、オルガンやピアノの発展史および調律史についてのレクチャーの後、展覧会で扱った時代の芸術と音楽について解説し、古典調律と現代の平均律との聴き比べを行った。第2部ではヴァイオリンも加わって、古典調律でストラヴィンスキーやサティ、新ウィーン楽派などの楽曲が演奏された。調律の違いが楽曲の印象を大きく変えること、作曲された当時の調律での演奏が鑑賞体験を広げることなどを体感してもらえる機会となった。松江や出雲など県内在住の音楽家と調律師とでこうした企画が実現できたことも成果であった。なお、本公演の動画はYouTubeで公開している。

<https://www.youtube.com/watch?v=-6zR2k076Kc>



「古典調律で奏でる音楽」

日 時: 令和4年9月23日(金・祝) 13:30開演

会 場: スタジオ1

料 金: 一般前売り1,500円、会員1,000円 *当日券は各500円アップ

出 演: 歌島 昌智(ピアノ)、辺見 康孝(ヴァイオリン)、日野 博(調律)

参加者: 40名

MUSEUM×THATER：ミュージアムvol.19
「朗読の夕べ 文学と美術のあわいに」

森鷗外没後100年記念のコレクション展「森鷗外とゆかりの画家たち」の関連プログラムとして開催。展示会場にステージを設け、文学と美術が同時に楽しめる空間を作った。

第1部では、当館で初出本を所蔵する、原田直次郎が挿画を手がけた鷗外の小説「文づかひ」を人気声優の朗読と、専門家の解説によって紹介。第2部では会場に絵を飾っている画家が書いた随筆などの朗読にあわせ、その画家たちと鷗外との交友を学芸員が紹介した。

当館は「森鷗外ゆかりの美術家作品」を作品収集方針の1つにしているものの、鷗外は難しいと敬遠されがちであるため、新しいアプローチを試みた企画。声優の表現力と、ビジュアル資料を交えた専門家の解説によって、作品の魅力をじっくり味わい、また鷗外の多彩な交友を知る会となった。

なお、本公演は「萩・石見空港利用促進事業」として開催。5名が航空機を利用して来場した。

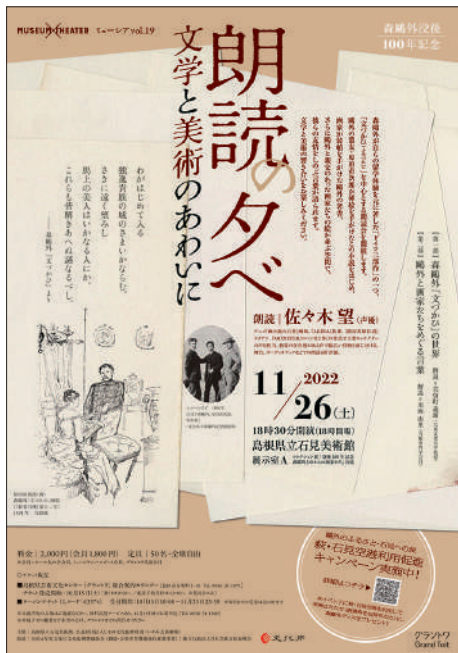
日 時：令和4年5月28日(土) 14時開演

会 場：多目的ギャラリー

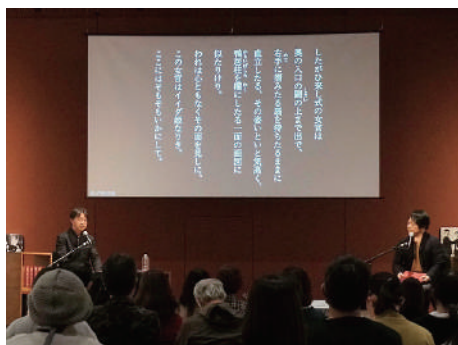
料 金：一般2,000円、会員1,800円

出 演：佐々木 望(声優)、美留町 義雄(大東文化大学教授)、川西 由里(当館学芸員)

参加者：50名



チラシ



「朗読の夕べ 文学と美術のあわいに」

【講座・講演など】

令和4年度益田市雪舟顕彰会通常総会

講演「雪舟とその弟子たち—益田ゆかりの作品を中心に—」

日 時：令和4年5月18日(水) 13:30~14:45

講 師：角野 広海

会 場：益田市福祉センター 大集会室

参加者：40名

出張授業：アートカードを用いた鑑賞

日 時：令和4年6月30日(木) 13:40~15:20

講 師：廣田 理紗

会 場：益田市立益田小学校

参加者：5年1組、5年2組

アニメ中間素材シンポジウム②

「アニメ中間素材の創造性：映像作家 五島一浩のメソッドを中心に」への登壇

日 時：令和4年9月11日(日) 13:30~15:30

登壇者：川西 由里、五島 一浩(映像作家)、神村 幸子(開志専門職大学アニメ・マンガ学部)、Dario LOLLI(Durnam University)

会 場：新潟大学 有任記念会館

参加者：会場とオンラインのハイブリッド

大阪成蹊大学 令和4年度芸術学部 特殊講義3

「美術展とポップカルチャー」

日 時：令和4年10月25日(火) 8:50~12:20

講 師：川西 由里

会 場：大阪成蹊大学図書館棟7階ホール

参加者：芸術学部3、4年生140名

アート企画「グラントワ×ズコウ vol.2」

日 時：令和4年11月23日(水) 13:00~17:00

講 師：川西 由里、廣田 理紗

会 場：グラントワ 多目的ギャラリー

島根県立石見美術館のファッションに関する活動紹介、および企画展〈機能と装飾のポリフォニー〉について

お茶の水女子大学省察科学部人間生活学科生活文化学講座「服飾文化概論」の授業へ出講

日 時：令和5年1月13日(金) 13:20~14:50

講 師：廣田 理紗

会 場：オンライン

聴講者：人間生活学科1年生30名ほど

島根県立大学地域政策学部×島根県立石見美術館

地域の課題について理解を深め、解決にむけた取り組みを行う「地域プロジェクト研究IB」の成果発表として開催。「美術館に親しむ」ことを目標とし、特別展とコレクション展に関連する2つのワークショップを実施した。

①光と影で楽しむ森英恵の世界(特別展「追悼 森英恵」関連プログラムとして)

②わくわくアート鑑賞(コレクション展「没後100年 森鷗外とゆかりの画家たち」の関連プログラムとして)

イベント日時：令和5年1月15日(日) 13:00~16:00

会 場：①展示室A、②美術館ロビー、講義室

担 当：①南目 美輝、②川西 由里

受講生：12名

主 催：島根県立大学地域政策学部
 協 力：一般社団法人豊かな暮らしラボラトリー
 参加者：60名

益田市立益田中学校 2年生キャリア教育

益田で暮らす様々な職業人が中学生に向け、現在の仕事や、仕事につくまでの道のりについて話した。

日 時：令和5年2月1日(水) 2、3校時
 講 師：川西 由里
 会 場：益田市立益田中学校
 参加者：益田市立益田中学校2年生

武庫川女子大学 生活美学研究所 研究会「縫製のこれからを考えるーヴァレイによるMY HOME ATELIERの試み」

日 時：令和5年3月2日(木) 18:30~20:00
 講 師：廣田 理紗
 会 場：zoomによるオンライン配信
 参加者：武庫川女子大学に在籍する学生、教職員および一般の希望者

【非常勤講師としての授業】

平成27年度より島根県立石見高等看護学院での芸術(美術)の授業を一コマ担当している。当館学芸員によるリレー形式の授業。共通テーマは「地域の美術とその鑑賞」。

第1回 講義：「 Grantワと石見美術館の概要」と「石見美術館のファッションコレクション」

日 時：令和4年10月19日(水)14:50~16:20
 講 師：南目 美輝
 会 場：講義室

第2回 講義：「美術館と地域のかかわり」

日 時：令和4年10月26日(水)14:50~16:20
 講 師：川西 由里
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第3回 講義：「造形とは何か」

日 時：令和4年11月2日(水)14:50~16:20
 講 師：左近充 直美
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第4回 鑑賞：企画展「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」

日 時：令和4年11月7日(月)14:50~16:20
 講 師：廣田 理紗
 会 場：島根県立石見美術館 展示室C・D

第5回 講義：「石見美術館の森英恵コレクション」と鑑賞：コレクション展「ラウル・デュフィ」

日 時：令和4年11月28日(月)14:50~16:20
 講 師：南目 美輝、廣田 理紗
 会 場：島根県立石見美術館 展示室B、講義室

第6回 講義：「島根の仏像」

日 時：令和4年12月7日(水)14:50~16:20
 講 師：的野 克之
 会 場：島根県立石見高等看護学院

第7回 鑑賞：コレクション展「森鷗外没後100年」と講義：「石見の美術」

日 時：令和4年12月21日(水)13:10~15:35(休憩含)

講 師：川西 由里、角野 広海

会 場：島根県立石見美術館 展示室A、講義室

【博物館実習】

日 時：令和4年8月1日(月)~8月5日(金)

参加者：佐賀大学芸術学部デザイン学部学生(1名)

【その他】

令和4年度島根県障がい者アート作品展 審査会における審査

日 時：令和4年12月7日(水)9:00~15:00

審査員：川西 由里

会 場：島根県立美術館ギャラリー

古代歴史文化賞作業チーム会議通覧者

職務内容：古代歴史文化賞の各推薦書籍(25冊程度)を通覧し、評価票に基づき評価を行う。

作業チーム会議通覧者：的野 克之

任 期：令和4年6月10日~令和4年8月24日

令和4年度 朝日新聞『石見美術館収蔵から 美ありて』連載

4月 9日 角野 広海 三浦紫暁《「孔雀図」》

7月 2日 南目 美輝 伊東茂平《ジャケット、パンツ》

8月 6日 廣田 理紗 マドレーヌ・ヴィオネ《デイ・ドレス》

9月17日 的野 克之 米原雲海《木彫「仙丹」》

10月22日 川西 由里 原田直次郎《森鷗外「文づかひ」挿絵》

12月 3日 南目 美輝 森英恵《イブニングコート、ドレス》

1月21日 廣田 理紗 森英恵《黄金色の鶴のドレスとカフタン》

その他寄稿

山陰中央新報4月25日 的野 克之 「益田兼見の仏像—医光寺木造釈迦如来坐像」

山陰中央新報8月26日 南目 美輝 「森英恵さんを悼む」

全国美術館会議機関紙『全美フォーラム』Vol.22 9月1日 南目 美輝 「コロナ禍2年目の山陰地方」

『Fashion Talks...』第14号 10月31日 南目 美輝 展覧会レビュー「ファッション イン ジャパン1945-2020—流行と社会」展

『美術フォーラム21』第46号 12月15日 南目 美輝 「戦後日本における洋装化の一断面—女性の衣生活をめぐって」

ボランティア



ワークショップボランティア

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のグラントワ全体のボランティア会の組織は、映画、イベント、ワークショップ、放送、劇場フロント、ギャラリートーク、発送、クリーンアップ、生け花、情報発信の10のグループからなっている。そのうち美術館では「ワークショップグループ」と「ギャラリートーク」のグループが活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

令和4年度は活動なし

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップをはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして参加をしている。また、主に服飾に関する展示の準備に参加することもある。

活動記録

5月1日(日)グラントワ・レトロ横丁「風呂敷ワークショップ」の補助

各種割引

島根県立石見美術館 入館料・割引サービス一覧 ※2020年8月20日現在

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

提携館

いわみ美術回廊 加盟館

浜田市立石正美術館	左記施設の 会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
浜田市世界こども美術館		観覧券の半券	
益田市立雪舟の郷記念館			
津和野町立安野光雅美術館			
今井美術館			

山口県立美術館	会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	団体割引 (ご本人のみ)
山口県立萩美術館・浦上記念館		<small>※2021年4月1日以降は会員証のみ</small>	
サントリー美術館	左記施設の 会員様	会員証	
DIC川村記念美術館			
植田正治写真美術館			
足立美術館			
尾道市立美術館			
ひろしま美術館			
広島県立美術館			
広島市現代美術館			
愛媛県美術館			
島根県立美術館	会員様 または ご利用者様	会員証 または 観覧券の半券	
島根県立古代出雲歴史博物館		会員証 または 割引券	

劇場連携

グラントワ(いわみ芸術劇場)	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット をお持ちの方	いわみ芸術劇場 主催の 有料公演チケット <small>※公演当日のみ有効</small>	団体割引 (ご本人のみ)
----------------	---	---	------------------------

外国人割引

外国人の方	外国人の方	パスポート(旅券) または 在留カード	企画展・コレクションセット券 一般 650円/大学生 400円 小中高生 150円 企画展のみ 一般 500円/大学生 300円 小中高生 無料
-------	--------------	---	---

★ご提示いただく「会員証」は、有効期限内のものに限ります。

石見美術館の入館料が割引となります。

割引対象施設／サービス名称	割引対象者	ご提示いただくもの	割引内容
---------------	-------	-----------	------

提携カード／クーポン／パスポート／その他

しまねカード	左記の カード をお持ちの方	カード または WEB画面	団体割引 (人数制限なし)		
しまね子育て応援パスポート COCCOLO		カード	団体割引 (4名様まで)		
ゆめカード					
SDカード					
山陰中央新報さんさんクラブ					
ちゅーピーカード					
やわらぎカード					
萩ファンカード					
E倶楽部(イーカード)					
JAF				カード または WEB画面	
ドゥプレカード				カード	団体割引 (同居ご家族4名様まで)
Reloclub				カード または WEBクーポン	団体割引 (5名様まで)
エルフル	カード または WEB画面			団体割引 (4名様まで)	
石見ぶらり手形	左記の クーポン または パスポート または チケット など をお持ちの方	入場クーポン	企画展・コレクションセット券 500円 ^{※1}		
じゃらん		割引クーポン	団体割引 (4名様まで)		
雪舟さんパスポート		パスポート	団体割引 (ご本人のみ)		
ぶらり中国ドライブパス		申込完了メール(印刷またはWEB画面)	団体割引 (5名様まで)		
おいでませパスポート		パスポート	団体割引 (4名様まで)		
だんだんチケット		無料招待券 ^{※2}	入館無料 (無料招待券 1枚につき1名様)		
ミュージアムガイド(書籍)	左記 書籍 をお持ちの方	ミュージアムガイド(書籍)	団体割引 (4名様まで)		
美術検定1級アートナビゲーター	左記 資格 をお持ちの方	認定証	団体割引 (2名様まで)		

※1 大学生・小中高生無料／コレクション展は対象外です。
※2 だんだんチケットに印刷されています。

乗車券・航空券

高速バス 益田⇄大阪／広島	左記の 交通機関 または サービスを ご利用 の方	往復乗車券	団体割引 (ご本人のみ)
JR益田駅⇄島根県東部(大田市以東)		DWパスポート	
DWパスポート(JR西日本)		1日乗車券	
雪舟ライン		航空券 ^{※3}	
萩・石見空港発着便			

※3 往復・片道のいずれの航空券でも可。

提携館にてグラントワ会員証（共通カードまたはミュージアムパスポート）、石見美術館観覧券（半券）をご提示いただくと、提携館の入館料が割引となります。

提携館名	割引対象	
	グラントワ共通カード ミュージアムパスポート	石見美術館観覧券（半券）
いわみ美術回廊 加盟館		
浜田市世界こども美術館	※当面の間割引休止	
津和野町立安野光雅美術館		
浜田市立石正美術館	○	○
益田市立雪舟の郷記念館	○ （会員ご本人のみ）	○
今井美術館		
山口県立美術館		○ （開催中のもの）
山口県立萩美術館・浦上記念館	○	※2021年4月1日以降はご利用いただけません。
島根県立美術館	○ （会員ご本人のみ）	
サントリー美術館		
DIC川村記念美術館	※当面の間割引休止	
植田正治写真美術館		
足立美術館		
島根県立古代出雲歴史博物館		—
尾道市立美術館		
ひろしま美術館	○ （会員ご本人のみ）	
広島県立美術館		
広島市現代美術館		
愛媛県美術館		

※各施設により割引率や条件等が異なります。詳しくは、それぞれの施設まで直接お問い合わせください。

【いわみ美術回廊】

平成14年4月1日いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館

(以上7館)

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品(7館グッズ詰め合わせ)贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

平成27年4月 葛飾北斎美術館が閉館、7館体制となる。

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
荒木 寛友	李白詩吟図	明治時代～大正時代	絹本着色 一幅	130.0×60.0程度
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷派	四季山水図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	江戸時代初期(寛永年間頃)	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画淡彩 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～92年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鐔木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	あそび	明治末～大正初期頃	絹本着色 軸	108.2×39.4
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎川 芳畹	墨竹図	1878(明治11)年	紙本墨画 一幅	130.0×60.0程度
斎川 芳畹	墨梅図	江戸時代末期～明治時代初期 (19世紀)	紙本墨画 一幅	130.0×60.0程度
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗文	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷺鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
田中 頼璋	林和靖愛鶴図	1935年	絹本着色 軸	129.4×41.6
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～37年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋舟鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～25年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	荘園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松浦 舞雪	長夜のすさび	大正末～昭和初期頃	絹本着色 軸	132.6×57.6
松林 桂月	菊花双鶏図	1922年	絹本着色、一幅	150.1×42.3
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
三浦 紫畹	孔雀図	1833(天保3)年	紙本着色 六曲一隻	175.0×350.0程度
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	遊魚図	1846年	絹本着色、一幅	129.6×57.9
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 華山	龍虎図屏風	江戸時代後期 19世紀初め	紙本墨画、六曲一双	各143.5×328.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
伝 大下 藤次郎	伝大下巳之吉肖像	制作年不詳	油彩、カンヴァス	47.0×35.0
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
喜多村 知	滞船	1972年	油彩、カンヴァス	71.5×115.5
喜多村 知	北国の家(北溟随感)	1977年	油彩、カンヴァス	111.0×161.0
喜多村 知	北溟随感	1977年	油彩、カンヴァス	95.7×144.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
寺戸 恒晴	武蔵野風景	1950～60年代	油彩、カンヴァス、額装	33.0×44.5
寺戸 恒晴	持石海岸	1977年	油彩、紙	26.8×37.8
寺戸 恒晴	石見・三隅港	1987年	油彩、カンヴァス、額装	129.0×161.5
寺戸 恒晴	大山・中海の朝	1988年	油彩、カンヴァス、額装	59.0×71.5
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
野村 康生	"Noctis Labyrinthus(夜の迷宮)"No.04、No.08、No.09	2017(平成29)年	アクリル、シリコン、マーカー・グリッター、ウレタン・パネル	(各)159.7×98.7
原田 直次郎	男児肖像	1887~98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908~09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913~25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912~25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912~25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911~20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルルクス	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末~20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920~22年頃	油彩、カンヴァス	81.8×100.2
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版 画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
鏝 嘸	鳳凰I	1983年	紙、シルクスクリン	31.0×30.0
畦地 梅太郎	火の山	1973年	木版、紙	29.5×22.1
畦地 梅太郎	ささやき	1978年	木版、紙	25.0×26.0
畦地 梅太郎	園谷の残雪	1967年	木版、紙	46.6×37.3
畦地 梅太郎	鳥と山男	1983年	木版、紙	36.8×46.8
有元 利夫	1983年展覧会ポスター	1983年	銅版、紙	48.7×35.2
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
川村 みづえ	ポスター レナウン「イエイエ」	1967年	シルクスクリン、紙	102.5×72.5
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
小林 敬生	蘇生の刻-早春	1988年	木口木版、紙	35.7×25.3
笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	木版、紙	47.0×34.8
殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	銅版、紙	26.9×31.3
殿敷 侃	不明(ノコ)	不詳	アクアチント、紙 ED:1/30	14.5×24.4
殿敷 侃	不明(釣針)	不詳	アクアチント、紙 ED:19/40	4.2×4.4
殿敷 侃	クシ	不詳	アクアチント、紙 ED:8/20	4.8×8.8
殿敷 侃	不明(くし(長柄))	不詳	アクアチント、紙 ED:42/45	19.2×14.2
殿敷 侃	不明(新聞)	昭和56年(1981)頃	シルクスクリン、新聞紙	163.2×81.3×3.0
殿敷 侃	新聞	昭和56年(1981)	シルクスクリン、新聞紙	163.3×81.2×3.0
杉浦 非水	産業組合中央会 第二次産業組合拡充三ヶ年計画	1937年	印刷、紙	81.0×57.0
杉浦 非水	東亜ペイント製造株式会社 銅化塗料ノーファン	1920年代	印刷、紙	65.3×37.8
杉浦 非水	宮崎県 日向の早熟 蔬菜と果実	1928年	印刷、紙	106.1×74.9
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
平塚 運一	裸婦百態「芝生」	1995年	木版、紙	22.0×18.0
古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	銅版、紙	22.8×18.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	ハヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
アンリ・ド・トゥルーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892～93年	リトグラフ、紙	80.8×60.8
ウイーン工房(フレートル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャン＝エミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャン＝エミール・ラブレール	ビュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0
ジョルジュ・ルバープ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドローネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒェ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン	オートバイ・コミオ	1899年	リトグラフ、紙	200.0×140.0
ピエール・ボナール	雑誌「ルヴェ・ブランシュ」のためのポスター	1894年	リトグラフ、紙	80.0×62.0
ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914／15」(12点組のうち)	1914～15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
アニー・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァインベルガー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 / 15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912~25年	冊子69冊、ファッションプレート721枚	
	『モード・エ・マニエル・ドール・ジュールドゥイ』	1912~22年	冊子7冊、ファッションプレート84枚	
	『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』	1912~14年	冊子80冊、ファッションプレート188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	戸山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	仁和寺五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	仁和寺山門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~97年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷の春色	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模 (AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903~11年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903~11年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903~11年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903~11年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903~11年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903~11年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903~11年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903~11年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903~11年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903~11年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903~11年頃	水彩、紙	33.6×23.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	浜辺の松	1903~11年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほどり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907~11年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907~11年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907~11年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907~11年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907~11年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907~11年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907~11年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
加賀羅 聡	三浦浩著『津和野物語』挿絵	1986年	水彩、紙	21.8×17.4
喜多村 知	津和野町雪景色(B)	1946年頃	水彩、紙	33.0×48.0
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912~29年頃	水彩、紙	15.7×21.7
丸山 晚霞	百合	大正3年(1914)頃	水彩、紙	34.8×26.0
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926~45年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の端居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて① (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6× 16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて② (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3× 15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③ (3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4× 17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ (芝居のお 稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ (芝居のお 稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	17.3×9.5
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	14.8×9.5
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 鎌倉	不詳	鉛筆、紙	13.8×8.6
大下 藤次郎	風景スケッチ 二日市	不詳	鉛筆、紙	8.6×14.0
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~97年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
寺戸 恒晴	石見神楽 蛇頭	1970~80年代	パルテル、紙、額装	31.0×41.0
寺戸 恒晴	出雲 小田	1979年	パルテル、紙、額装	30.5×40.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はげのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
松江 泰治	JP-32 01	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 02	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 03	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 04	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 05	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 06	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 07	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 08	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松江 泰治	JP-32 09	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 10	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 11	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 12	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 13	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 14	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 15	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 16	2018年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 17	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 18	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 19	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 20	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 21	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 22	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 23	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 24	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 25	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 26	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 27	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 28	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 29	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 30	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 31	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 32	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 33	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 34	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 35	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 36	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 37	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	JP-32 38	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	IZO 171280	2022年	発色現像方式印画	44.8×56.0
松江 泰治	IZO 171323	2021年	発色現像方式印画	44.8×56.0
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーヴィン・プリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年印刷	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイロード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー 『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティックシ ティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970~71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
パロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
パロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジェル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジェル、ドーヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ド・ヴィルにて フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソ・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーパース・バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーパース・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーパース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
穴戸 濤雲	根付 柿本人麿	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊暁	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に菟龜	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 龜	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・べっ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920~21年	鍍金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバージューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993~94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
澄川 喜一	S君	1959年	ブロンズ	33.0×20.0×27.0
澄川 喜一	裸婦	1958年頃	ブロンズ	46.0×11.0×11.5
澄川 喜一	Kさん	1960年	ブロンズ	36.0×23.0×36.0
澄川 喜一	SHIRUBE	1974年	樟	146.5×64.0×58.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
澄川 喜一	マジック・ボックス	1975年	御影石、樺、杉	63.0×28.3×15.0
澄川 喜一	無題[スポーツ功労者顕彰記念像]	1978年	ブロンズ	51.0×13.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1979年	樺、カラントス	127.5×74.5×16.0
澄川 喜一	種	1982年	樺、樟	33.0×23.0×8.5
澄川 喜一	MASK	1982年	樟、カラントス	60.5×42.0×35.0
澄川 喜一	フェニックスの翼 A	1982年	ブロンズ	165.0×56.0×30.0
澄川 喜一	そりとそぎのあるかたち 83	1983年	樺、松	240.0×160.0×105.0
澄川 喜一	MASK	1985年	樟	41.0×42.5×27.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1985年	樺	77.0×87.0×23.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 86	1986年	松、樺、鉄板	300.0×90.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち-D	1987年	樺、松、鉄板	233.0×325.0×30.0
澄川 喜一	TO THE SKY C	1992年	ステンレス、黒御影石	230.0×65.0×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち95	1995年	樺	240.0×62.0×57.0
澄川 喜一	お月さま	1995年	樺、チーク	236.0×139.0×35.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1995年	黒御影石、金箔	16.0×70.0×22.0
澄川 喜一	ぼしあかり	1995年	黒御影石、金箔	82.0×32.0×24.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1996年	ブロンズ	83.5×114.5×10.8
澄川 喜一	そりのあるかたち 97-3	1997年	樺、一位、ステンレス	205.0×200.0×37.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	1998年	樺、鉄板	203.0×200.0×50.0
澄川 喜一	木滴	1998年	杉、槐	36.0×26.0×17.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 4	1999年	樺	236.0×54.0×37.0
澄川 喜一	翼 3	1999年	樺、樟	42.0×68.0×17.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 99	1999年	樺	278.0×159.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 3	1999年	樺、黒壇	118.0×10.0×9.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 5	1999年	樺	124.5×38.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 7	1999年	樺	71.0×60.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち A	1999年	樺、カラントス	205.0×230.0×53.0
澄川 喜一	そりのあるかたち B	1999年	樺	93.5×112.0×13.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 2000	2000年	樺、チーク	268.0×97.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 01-2	2001年	樺、松、チーク	345.0×120.0×80.0
澄川 喜一	風	2001年	黒御影石	150.0×26.8×41.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 01-1	2001年	樺、チーク、松、鉄板	310.0×130.0×30.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-4	2002年	松	232.0×93.0×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-1	2002年	樺	205.0×193.0×60.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 02-3	2002年	樺、檜	280.0×116.0×41.0
澄川 喜一	そりのあるかたち G	2002年	樺	99.0×19.0×31.5
澄川 喜一	太陽	2002年	赤御影石	46.0×28.0×19.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 03	2003年	樺、檜、ステンレス	310.0×90.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 04	2004年	樺、ステンレス	250.0×180.0×90.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2004年	神代樺、樺、ステンレス	88.0×82.0×19.0
澄川 喜一	そりのあるかたち d	2005年	ステンレス	78.0×87.0×17.0
澄川 喜一	翔 II	2005年	神代樺、ステンレス	43.0×61.0×35.0
澄川 喜一	瀧	2005年	杉、樺	122.0×19.0×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 05	2005年	神代樺、樺、檜	240.0×172.0×42.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 06	2006年	神代樺、樺、ステンレス	197.0×180.0×70.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、檜	102.0×30.0×20.0
澄川 喜一	木霊 A	2007年	檜、樟	127.0×31.0×30.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	神代樺、樺	211.0×65.0×27.0
澄川 喜一	そりのあるかたち O	2007年	神代樺、樺	90.5×10.5×10.2
澄川 喜一	そりのあるかたち	2007年	樺、杉	208.0×205.0×46.0
澄川 喜一	木霊	2007年	檜、樺	170.0×24.0×24.0
澄川 喜一	木の華	2007年	杉、樺、カラントス	88.0×28.0×24.5
澄川 喜一	MASK	2007年	チーク、樺	56.0×21.0×15.8
澄川 喜一	そりのあるかたち 15	2007年	栗、槐、檜、樺	97.5×24.0×14.5
澄川 喜一	そりのあるかたち 18	2007年	樺	113.0×13.0×10.5
澄川 喜一	そりのあるかたち A	2008年	樺	137.0×30.0×22.0
澄川 喜一	木霊 B	2008年	檜、カラントス	112.0×30.0×18.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2008	2008年	神代樺、樺、檜	190.0×162.0×52.0
澄川 喜一	そりのあるかたち N	2008年	栗、檜、槐	44.0×79.0×12.0
澄川 喜一	翔 A	2008年	神代樺、ステンレス	137.0×70.0×40.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2009	2009年	神代樺、樺	228.0×118.0×53.0
澄川 喜一	矢羽根 I	2010年	神代樺、樺	219.0×55.5×26.3

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
澄川 喜一	そりのあるかたち	2010年	杉、樺	212.0×33.0×31.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2010	2010年	樺	212.5×167.0×39.0
澄川 喜一	そりのあるかたち a	2010年	樺	179.0×161.5×38.5
澄川 喜一	そりのあるかたち f	2010年	樺	107.0×106.0×29.0
澄川 喜一	そりのあるかたち A	2011年	樺	213.0×129.0×30.0
澄川 喜一	TOWER	2012年	樺	111.0×21.0×22.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2012年	神代樺、杉	160.0×47.0×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち C	2012年	神代樺	156.5×34.5×27.5
澄川 喜一	そりのあるかたち D	2012年	神代樺、樺	179.0×111.0×37.5
澄川 喜一	そりのあるかたち F	2012年	樺、桂	43.0×129.0×15.5
澄川 喜一	そりのあるかたち B	2012年	樺	227.0×52.5×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち 2012	2012年	樺	233.5×100.0×54.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2013年	樺	84.0×15.0×14.5
澄川 喜一	TO THE SKY Ⅲ	2015年	樺	65.5×15.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	黒壇、樺	30.5×10.5×5.5
澄川 喜一	そりのあるかたち n	2015年	ローズウッド、樺	32.0×12.2×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち f	2015年	白檀、樺	7.5×44.0×8.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2015年	神代樺、樺	26.0×44.5×8.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2017年	樺	216.0×58.0×45.5
澄川 喜一	門(かんぬぎ)	2018年	樟、樺、杉	79.0×30.0×20.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2018年	杉	215.0×85.0×50.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	槐、樺、神代樺	210.0×48.5×38.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	48.0×19.0×7.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樟	47.0×18.0×9.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺	26.5×52.0×11.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2019年	樺、カラントス	210.0×64.0×50.0
澄川 喜一	TO THE SKY	2019年	樺	75.5×24.0×12.2
澄川 喜一	扉	2020年	樺	41.0×48.0×10.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2020年	樺	55.5×48.0×12.5
澄川 喜一	しかくいお	2020年	樺	13.5×14.3×10.2
澄川 喜一	フェニックスの翼(第39回「2020年日経優秀製品・サービス賞」の記念ブロンズ像)	2020年	ブロンズ	50.0×8.0×8.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺、杉、鉄板	251.0×30.5×26.5
澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	樺	12.7×85.0×10.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	2021年	白檀、樺	15.5×42.0×13.5
澄川 喜一	そりのあるかたちb	2021年	杉	164.5×37.0×20.0
澄川 喜一	そりのあるかたちf	2021年	神代樺	108.0×40.5×29.0
澄川 喜一	おろち	2021年	ステンレス	27.5×33.0×10.0
澄川 喜一	らふ	2021年	樺	31.5×6.0×6.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺	高203.0
澄川 喜一	そりのあるかたち Y	制作年不詳	樺	117.0×25.0×24.0
澄川 喜一	SKULL	制作年不詳	カラントス	パーツが4つに分かれる/ 1パーツ高 約70~80
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、カラントス	63.0×21.0×57.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳(初期)	樺	102.0×21.5×34.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、松	202.0×168.0×33.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	樺、杉	67.0×125.0×32.0
澄川 喜一	MASK	制作年不詳	金属	35.0×28.0×15.0
澄川 喜一	そりのあるかたち	制作年不詳	金属	15.5×26.5×5.3
澄川 喜一	トロフィー	制作年不詳	金属	42.0×8.0×8.0
澄川 喜一	トロフィー	制作年不詳	金属	33.5×6.5×5.0
澄川 喜一	観音菩薩立像	制作年不詳	木	9.5×3.3×1.2
澄川 喜一	宝舟	制作年不詳(2019年か)	樺、杉	81.0×23.0×8.0
澄川 喜一	翼	制作年不詳	木	71.0×47.0×6.0
澄川 喜一	おろち	制作年不詳	ステンレス	40.0×28.0×9.0
澄川 喜一	MASK	制作年不詳	カラントス	52.0×30.0×20.0
藪内 佐斗司	どこかものたりない 不可思議な人物たち	1982年	檜	向かって右 160.0×114.0×112.0 向かって左 132.0×173.0×243.0
藪内 佐斗司	ろーりんぐまん	1984年	檜	153.0×258.0×60.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
伊東 茂平	ジャケット、ドレス(青)	1936年	青色のウール ドレスの胸元にシャーリング 襟とカフスに白色の畝のある生地
伊東 茂平	ジャケット、パンツ(緑)	1937年	緑色に白いネップのあるウール 肩に深緑色の革のパッチワーク 同じ革のポケット
伊東 茂平	ジャケット、スカート、襟巻	1961年	黒と白のウール ジャケットにジッパー付
伊東 茂平、伊東 孝	コート(黒グレンチェック)	1955~65年頃	黒グレンチェックのウール 裏地はキャメルのウール
伊東 茂平	コート(紺チェック)	1955~65年頃	紺色チェックのウール
伊東 茂平	ジャケット、スカート(黒)	1955~65年頃	黒色ウール 裏地は化繊
伊東 茂平	ジャケット、スカート(チャコールグレー)	1955~65年頃	チャコールグレーのウール
伊東 茂平	コート(茶)	1955~65年頃	茶色化繊のグログラン
伊東 茂平	ドレス(黒)	1955~65年頃	黒色ウール 襟がストールになったデザイン 肩パッド入り
伊東 茂平	コート(紺)	1955~65年頃	紺地に黒色の花をプリントした化繊のサテン ベルト付
伊東 茂平	コート(黒とグレー)	1955~65年頃	黒とグレーのモヘア ベルト付
伊東 茂平	コート(黒)	1955~65年頃	黒色のウール
伊東 茂平	ジャケット、スカート(茶)	1955~65年頃	茶色のネップ入りウール
伊東 茂平	ジャケット、スカート(紺)	1955~65年頃	紺色梨地織のウール
伊東 茂平	ドレス(紺)	1955~65年頃	紺色のウール
伊東 茂平	ドレス(グレー)	1967年	グレーのウール 襟と袖口はピンク色のウール ピンク色ウールのハイソックス付
川久保 玲 / COMME des GARÇONS	トップ	1996年 / 1997年 春夏	赤いギンガムチェックプリント 左脇や後ろ肩に変形のあるタイトフィットの半袖Tシャツ
川久保 玲 / COMME des GARÇONS	スカート	1996年 / 1997年 春夏	ピンク色のギンガムチェックプリント ゴムで所々シャーリングを寄せたタイトフィットのロングスカート 右前に変形あり
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート ドレスは、帯地と絹サテン
森 英恵	ジャケット、ディナー・ドレス	1965年春夏	西陣織りの帯地を用いたジャケット シルクサテンのドレス ドレスの背には大きなりボン飾り
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン 絹サテンのベルト
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート 赤と白の絹サテンのロングドレス 赤い絹サテンのベルト付
森 英恵	ジャケット、ショートイブニング・ドレス	1968年秋冬	漢字柄を織り込んだ金色の西陣織りジャケット 金色の糸で手編みしたドレス
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工 ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント ベルト付き
森 英恵	デイ・ドレス	1960年代後半	ナイロンジャージーにプリント バンロン加工
森 英恵	デイ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント ワンピース・ドレス
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 同柄の絹シフォンのストール
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹 ネックにビーズ刺繍
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアップリケ
森 英恵	ジャケット、タイトスカート	1989年秋冬	黒色ウール地に黒色シルクサテンと黒色ウール地の網代編みをあしらったジャケット 黒色ウールのタイトスカート
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス
森 英恵	ジャンプスーツ	2004年秋冬	背面に役者絵を染めた、深い青色のシルクサテンでできたジャンプスーツ 腰に濃紺のブレードでベルト飾り
森 英恵	ジャケット、タイトスカート、ストール	2004年秋冬	秋の草花を染めた縮緬でできたテイラード・ジャケット、袖にスリット飾り ストール付き 同素材のタイトスカート
森 英恵	カフタン、イブニング・ドレス	2004年秋冬	羽ばたく鶴がプリントされた金色シルクサテンのカフタン 同素材でできたベア・トップのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス
森 英恵	コート、イブニング・ドレス	1997年秋冬	豹柄のフェイクファーをパッチワークした黒色ウールのロングコート 同柄をパッチワークしたベルトがついたウールニットドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス マーメイドライン、ノースリーブ スワングルによる刺繍

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス	1999年春夏	明るいグレーのシルクシフォンに、白、黒、チャコールグレーの変わり水玉を刺繍したロングドレス
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り 飾りピン付き 白いウールのアコーディオンプリーツのスカート
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル 緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート
森 英恵	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート 襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス 胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス 同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス 腰にモザイク状のベルト飾り
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス 裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のジャケットとスカート
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	紺のウールのジャケットとスカート ベルト付き
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	黒のウールのジャケットとスカート
アズディン・アライア	コート	1980年代	黒のウールのコート
アズディン・アライア	ジャケット	1980年代	黒のレザーのバイカージャケット
アズディン・アライア	デイ・ドレス	1980年代	黒のレザードレス
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーの綿のスーツ
アズディン・アライア	デイ・ドレス	1980年代	ダークデニムのジッパースカート
アズディン・アライア	ドレス	1980年代	ディープ V フードドレーブバックレスガウン
アズディン・アライア	ジャケット	1980年代	ブラウンのレザー・ジャケット
アズディン・アライア	ドレス	1980年代	生成りのシャツ・ドレス バックレス
アズディン・アライア	デイ・スーツ	1980年代	グレーのウールのスーツ
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス 細かくたたまれたプリーツ
アンドレ・クレージュ	デイ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス 裏地はクリーム色の絹
アンドレ・クレージュ	デイ・ドレス	1968年	綿レースで刺繍したナイロンチュールのワンピース・ドレス、絹サテン地でパイピング
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール マンダリン・カラー 茶革のトリミング、折り返しのあるカフス
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス 裏地は白い絹
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～70年	フェイクのエナメル(ビニール製) 丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのにミニスカート 銀色の革製のブーツ アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～68年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍 スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地 Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材 共布のショール付き
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革 ボーンの入ったボティス 皮のスカート スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント プラット・フォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ チェックの綿のシャツ
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラット・フォーム・シューズ
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス スカラップ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス サブリナ・ネック 長袖
エミリオ・プッチ	デイ・ドレス	1960年代	シルクニットに幾何学模様がプリントされたシーズドレス ラウンド・ネック 長袖
エルザ・スキャパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス ショッキングピンクのアンダードレス

作家名	作品名	制作年	材質
エルザ・スキヤパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡 幾何学模様 ホルターネックブラ
エルザ・スキヤパレリ	イブニングドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク 衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク) 肩にプラスチック・ジップ
エルメス	水着	1940～50年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス ボーン入り
ガブリエル・シャネル	ドレス、カーディガン	1920年代	ピンクベージュと黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたノースリーブドレス 黒のシルクシフォンにビーズ刺しゅうしたカーディガン 襟ぐりから前見ごろ 裾と袖口にシルバーのビーズでパイピング
ガブリエル・シャネル	イブニングドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス サテン地のリボン
ガブリエル・シャネル	イブニングドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピースドレス バイアスカット 黒の絹のスリッパ
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレスドレス 植物のモチーフをビーズ刺繍
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレスドレス 襟元にボー飾り 背面にバッシル風形状の飾り 共布のストールと靴
クリスチャン・ディオール	デイドレス	1949年	黒のウール 厚みのある開襟カラー ジャケットに飾りポケット 巻きスカート
クリスチャン・ディオール	ディナードレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピースドレス 裏地はピンクの絹オガンザ 内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコルセット 巻きスカート、シース型のアンダースカート付
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地 大きな襟と七分丈のラグラン・スリーブ 後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り 両脇にポケット 背中中央にボックスプリーツ 裏地はグレーの絹
クリスチャン・ディオール	カクテルドレス	1956年	茶の絹タフタ ウエストにベルト
クリスチャン・ディオール / イヴ・サンローラン	ディナードレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ 七分丈のラグラン・スリーブ 幅広の帯風のベルト ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコルセットとガーター スカートにはチュール地の3段のベチコート
クリスチャン・ディオール / マルク・ボアン	ディナードレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹 裏地は青の絹オーガンザ 七分丈スリーブ 左右が不均等なボレロ風ジャケット
クリストバル・バレンシアガ	カクテルドレス	1950～51年	濃い青の絹タフタのカクテルドレスとジャケット ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート ジャケットは肩幅の狭いシルエット ベルト付き ビーズ付き濃紺の靴
クリストバル・バレンシアガ	カクテルドレス	1961年	クリーム色のシフォン トラペーズラインのドレス
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘア、銀のスパンゲル、人造宝石の刺繍
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピースドレス
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコートドレス マンダリンカラー 袖には金色に着色した木製釦 アンダースカート付
クリストバル・バレンシアガ	カクテルドレス	1957年	黒のシャンティイレースの「ベビー・ドールドレス」 ピンクベージュの絹のスリッパドレス
クリストバル・バレンシアガ	カクテルドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピースドレス「ベビー・ドールドレス」 絹シフォンのアンダードレス付
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムパンツ
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピースドレス 金糸で刺繍の施されたベージュのフレーム、ボティスとスカートに稲妻と雲のデザイン 雲のデザインの薄い青色のトレーン
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディングドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス
ジャンヌ・ランバン	イブニングドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピースドレス ボティスとスカート上部に金銀のスパンゲルなどによる刺繍
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピースドレス 袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク バイアスカット
ジルベルト・エイドリアン	デイドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール 肩パッド付きのジャケット スリットのあるタイト・スカート
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート 椰子の葉と花々を織り込んだテキスタイル 黒の毛皮のトリミング 裏地は黒のベルベット
ステーンブラザーズ	レセプションドレス	1900～05年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている S字ライン
ダゴベルト・ベッヒェ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」
ダゴベルト・ベッヒェ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ
ダゴベルト・ベッヒェ	テーブルセンター	1919～20年	絹 チュールにアップリケ
チャールズ・ジェームス	ディナードレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ スカートにくるみ釦、ファスナー
ニナ・リッチ	イブニングドレス	1948年	紺と白の絹 開襟カラー 両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット 前面にくるみ釦 クリノリン型のスカート チュール・ネットの下着付き
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット 木製ソールは金色にペイント

作家名	作品名	制作年	材質
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテラード・ジャケット、ヒップ・ボーンのフレアーパンツ
バーバラ・フラニッキー ／ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テラードジャケット、ヒップボーンのフレアーパンツ
バコ・ラバヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニ・ドレス
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地 後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのベチコート付き
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル プラスティック製のシダのモチーフのデコレーション
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーンシフォン地 銀ブレードの縁飾り、バンド部分にペイズリー模様を銀糸やスバングルで刺繍 裏地はライム・グリーン絹シフォン
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス 前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー ボディスとスカート裾に花卉の形をアププリケ、中央のバラはステンシルによるペイント 裏地の裾に黒色の絹ベルベット
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地 Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン
ポール・ポワレ	デイ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント Vネックの襟元、ロウ・ウエスト
ポール・ポワレ	デイ・ドレス「プリントヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディスの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールド・ドイル糸刺繍 袖の縁取りに使われた紐にはタッスル飾り付き
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント ウエストに二つのポケット 黒の絹の縁
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント 襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン 伸縮性のある袖口 2つのポケット
マックス・スニシェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント 濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟袖も青の絹で縁取り
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート
マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ ワンピース・ドレス バイアス・カット
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス サークュラー・スカート ホルター・ネック 黒い絹サテンのアンダー・ドレス付 黒いチュールのストール
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダー・ドレスの2ピース ピンクのシルク・シフォン地のオーバードレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス
マリア・モナチ・ガレンガ	ティー・ガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブ、肩にヴェネツィアンビーズ ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク
マリアノ・フォルチュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント 金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング 錆赤のロングタイ 絹のライニング
マリアノ・フォルチュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ 金色のステンシル・ワーク 脇、裾にトンボ玉付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き
マリアノ・フォルチュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス 不規則な細かいプリーツ アーム・ホール、脇にトンボ玉付き
メンバーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ 背中に深いVカット ラグラン・スリーブ
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット ライニングは絹のシルバー・ラメ フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り
リバティ商会	ティー・ガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ 茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング 襟に中国風刺繍
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	ミニ・ドレス、ビキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーンウール・ニット ビニールのインサージョン ブーツにも同様のビニールのインサージョン
ルディ・ガンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール ボタン付きベルト
ルディ・ガンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹 シダ植物と花の模様が交差するパターン 襟元と袖に毛皮 袖はカフタン風 裏地はベージュの絹ベルベット

作家名	作品名	制作年	材質
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スー・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～20年代	白色の絹ボンジー 袖無しのボディ、パンツ
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	白色綿のオーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン・ウール ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール ジャケット、パンツ
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール ジャケット、ジョッパーズ・パンツ
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール ジャケット、ブルマー、カラー ルースなブラウス風のボディ、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー
作者不詳	水浴着	1905～10年頃	濃紺のウール 上着、ブルマー、スカート
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット 右肩に釦ファスナー
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント ジャケット、パンツ
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿 Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ
作者不詳	イヴニング・シューズ	1920年代	革 Tストラップ ビーズとスパンゲルで刺繍
作者不詳	手袋	1920年代	革 チェーンステッチによる刺しゅう
作者不詳	ネックレス	1920年代	パール 象の彫刻がされた石
作者不詳	イヴニング・バッグ	1920年代	炎のような図柄にビーズ編み
作者不詳	ヘッド・ドレス	1920年代	金糸にクリスタルビーズを配した帽子型
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク 両端にタッスルの飾り
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン・ゴム製 銀色にペイントされた羽根模様
作者不詳	プレスレット	1930年頃	銀
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート
作者不詳	子ども用ドレス	1850～60年	綿 カットワーク刺しゅう
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	青色綿のサマー・ドレス 全体に白糸のミシン刺しゅうと手刺しゅう レースの飾り 両脇に大きな飾りポケット 背中に貝ボタンの装飾
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	1880年頃	小花模様を織り込んだベージュ色の絹のワンピース・ドレス 前身頃に細かな装飾 襟とスカートにスカラブ（ホタテ貝の貝殻）型の縁飾り 後方に大きなボウ飾り
作者不詳	女兒用ワンピース・ドレス	明治23年（1890）頃	クリーム色の絹のワンピース・ドレス 高い位置にウエストライン 大きくふくらんだ袖 全体にレースの差し込みと刺しゅうの装飾 付属品としてドレスと共布の薄手の絹と、グログラン（横畝のある平織地）の絹の帽子
作者不詳	女兒用サマー・ドレス	明治13～23年（1880～90）頃	赤色と白色の細かいチェック地の綿サマー・ドレス ピンタックのある白色綿ブラウスと合わせて着用 襟、袖、スカート裾に白糸で手刺しゅう
作者不詳	女兒用コート・ドレス	明治13年（1880）頃	赤色の絹グログランのコート・ドレス ピンク色の絹ファイユの胸当て セーラー・カラーと大きな飾りポケットの装飾 七宝のボタン フランス製 “Au Printemps Paris”とラベルあり
作者不詳	男児服	明治10～23年（1870年代後半～80年代）	青色のウールのジャケット 飾りボタンの装飾 赤いシルクのライニング フランス製 “AU LOUVRE PARIS RAYON 53”とラベルあり
作者不詳	敷布	昭和初期	手績みの藤糸を経糸と緯糸に使い平織 鳥根県鹿島町上講部にて作られたもの
宮崎 マセ	敷布	1983～90年	手績みの葛糸を経糸と緯糸に使い平織 佐賀県唐津市で作られたもの
草間 彌生	アヴァンギャルドファッション	1968年（1998年再制作）	

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ (cm)
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～28年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹バルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹バルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～30年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～28年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～30年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ボーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

作家資料

作家名			技法、素材
伊東 茂平	スクラップブッカー式	1935年頃～1968年	
大下 藤次郎	作家資料一式	模写、日記、手記、筆写・翻訳、記録、書簡、出版物、その他資料、遺品など	
澄川 喜一	ブロンズ像の石膏原型(3点)	制作年不詳	石膏
澄川 喜一	Kさんの石膏原型	1960年	石膏
澄川 喜一	噴水(うごく城)(山口県山口市・亀山公園)モニュメントの石膏原型	1989年頃	石膏
澄川 喜一	横浜みなとみらい線馬車道駅モニュメント「金波・銀波」のマーケット	2004年頃	ステンレス、金箔
澄川 喜一	肖像彫刻の石膏原型(4点)	制作年不詳	石膏
澄川 喜一	大分空港モニュメント「TO THE SKY」のマーケット	1993年	金属
澄川 喜一	作家資料一式(R2年度寄贈分)	スケッチブック、原稿、メモ、モニュメントスケッチなど	

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
澄川 喜一	裸婦像	1955年	テラコッタ	15.8×13.5×9.0
澄川 喜一	《光る風》(JR釧路駅)のマーケット	1987年	金属	29.0×56.0×14.0
澄川 喜一	《扇》(岡山県井原鉄道伊原駅)のマーケット	1988年	発砲スチロール	13.0×23.0×13.0
澄川 喜一	《TO THE SKY》(新宿モノリスビル)のマーケット	1990年	木	51.5×15.5×15.5
澄川 喜一	鴨池橋竣工記念 横浜鴨池橋モニュメントの模型	1991年	金属	42.5×19.0×16.5
澄川 喜一	《TO THE SKY》(シンフォニア岩国・山口県)のマーケット	1996年頃	発砲スチロール	右：45.0×7.0×7.0 左：45.0×7.0×7.5
澄川 喜一	シールドマシーン、カッタービット(澄川喜一作品資料)	1997年	金属	12.0×19.5×15.0
澄川 喜一	《TO THE SKY》(NTTDコモ代々木ビル)のマーケット	2000年	金属	14.0×13.0×6.5
澄川 喜一	《日・月》/《清瀬の流れ》(清瀬けやきホール)下絵	2010年	紙、額装 2点	いずれも52.0×36.0
澄川 喜一	《TO THE SKY》(とうきょうスカイツリー駅)下絵	2012年	紙、額装	31.0×97.0
エミリオ・グレコ	裸婦像(澄川喜一収集作品)	制作年不詳	ブロンズ	58.0×12.0×21.0
白井 雨山	獅子舞(澄川喜一収集作品)	制作年不詳	木	19.0×8.5×11.0
澄川 喜一	少女頭部	制作年不詳	テラコッタ	17.0×11.0×18.0
澄川 喜一	裸婦像	制作年不詳	テラコッタ	20.5×12.0×15.0
澄川 喜一	裸婦像の石膏原型	制作年不詳	石膏	41.0×14.0×14.0
澄川 喜一	《フェニックスの翼》(茶碗1・湯呑2)	制作年不詳	陶器 3口	高さ10.0
澄川 喜一	マーケット	制作年不詳	発砲スチロール	44.5×7.0×7.0
澄川 喜一	マーケット	制作年不詳	発砲スチロール	36.5×10.0×9.5
澄川 喜一	マーケット	制作年不詳	発砲スチロール	40.0×10.0×12.0
澄川 喜一	マーケット	制作年不詳	発砲スチロール	38.0×10.0×10.0
澄川 喜一	《おろち》の原型	制作年不詳	石膏	26.0×27.0×12.0
澄川 喜一	作家・作品に関する資料(スケッチブック)一式	制作年不詳		
澄川 喜一	作家・作品に関する資料(原稿・メモ)一式	制作年不詳		
澄川 喜一	(作家・作品に関する資料)スクラップブッカー式	制作年不詳		

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
澄川 喜一	(作家・作品に関する資料) モニュメントスケッチ一式	制作年不詳		
作者不詳	墨壺(澄川喜一収集資料)	制作年不詳	木、金属 19点	長さ8.5~35.0
作者不詳	アフリカの仮面(澄川喜一 収集資料)	制作年不詳	木	26.5×19.0×14.0
作者不詳	アフリカの太鼓(澄川喜一 収集資料)	制作年不詳	木	66.0×22.0×21.0
作者不詳	アフリカの仮面(タンザニア) (澄川喜一収集資料)	制作年不詳	木	30.0×14.0×6.0

令和4年度 新収蔵作品一覧

購入

	分類	作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
1	日本画	山本 栞谷	月下兎図	江戸時代後期 (19世紀半ば)	絹本着色 一幅	127.0×56.7
2	写真	平川 紀道	TRAPPIST-1 (4点)	令和4年(2022)	インクジェットプリント、額装、4点組	62.0×62.0(各)

寄贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	日本画	山本 栞谷	山静日長図	天保11年(1840)	絹本着色 一幅	27.0×23.0
2	日本画	山本 栞谷	陶淵明図	明治元年(1868)	紙本着色 一幅	135.6×65.8
3	日本画	山本 栞谷	楓林停車図	明治2年(1869)	絹本着色 一幅	137.0×55.5
4	日本画	山本 栞谷	墨竹図	明治2年(1869)	紙本墨画 一幅	135.9×54.1
5	日本画	伊藤 素軒	鯉図	昭和4年(1929)	紙本着色 一幅	130.2×42.0
6	日本画	伊藤 素軒	松に鯉図	大正～昭和時代(20世紀前半)	絹本着色 一幅	136.0×50.5
7	水彩画	中尾 彰	美しき津和野 原画(笛)	昭和51年(1976)頃	鉛筆、水彩、額装	23.5×16.0
8	水彩画	中尾 彰	美しき津和野 原画(野すみれ)	昭和51年(1976)頃	鉛筆、水彩、額装	20.0×17.3
9	水彩画	中尾 彰	青野山	制作年不詳	鉛筆、水彩、額装	24.0×30.0
10	版画	澄川 喜一	フェニックスの翼A	昭和57年(1982)	紙、シルクスクリーン、額装	65.0×49.9
11	版画	澄川 喜一	フェニックスの翼B	昭和57年(1982)	紙、シルクスクリーン、額装	65.0×49.9
12	彫刻	澄川 喜一	裸婦	1965年	ブロンズ	31.0×24.0×20.0
13	資料	鈴木 健吉	山本栞谷「雅客遊戯図」模写	明治11年(1878)	紙本着色 まくり	171.0×68.0
14	資料	鈴木 健吉	山本栞谷「三福神図」模写	明治時代(19世紀)	紙本着色 まくり	90.5×60.3
15	資料	鈴木 健吉	山本栞谷「虎図」模写	明治時代(19世紀)	紙本着色 まくり	169.0×60.5
16	書籍	ステファン・マラルメ作、ラウル・デュフィ画	『マドリゴー』	1960年	リトグラフ、ポショワール、紙	30.0×24.0×2.5

令和4年度 所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「杉浦非水 時代をひらくデザイン」展 福岡県立美術館 令和4年4月22日～6月12日	杉浦朝武実写、小林習古写《露兵の漂着の実況(一)》『軍国画報』第2年8号 杉浦朝武実写、小林習古写《露兵の漂着の実況(二)》『軍国画報』第2年8号 『少年世界 競争双六』 『非水百花譜』(大正版) 杉浦非水《銅化塗料ノーワン》 杉浦非水《第二次産業組合拡充三ヶ年計画》 杉浦非水《日向の早熟蔬菜と果実》
「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」 豊田市美術館 令和4年6月7日～令和4年9月4日 東京都庭園美術館 令和4年12月10日～令和5年3月5日	ダゴベルト・ベッヒエ《蓋つきの物入れ》 ダゴベルト・ベッヒエ《ブローチ》 ダゴベルト・ベッヒエ《ペンダントヘッド》 ダゴベルト・ベッヒエ《ネックバンド》 ダゴベルト・ベッヒエ《蓋つきの箱》 ダゴベルト・ベッヒエ《テキスタイル「生命の木」》 マリア・リカルツ=シュトラウス《バッグ》 作者不詳《プレスレット》 ポール・ボワレ《ガーデン・パーティ・ドレス》 ポール・ボワレ《デイ・ドレス「プルトンヌ」》 ポール・ボワレ《デイ・ドレス》 マドレーヌ・ヴィオネ《イヴニング・ドレス》 マドレーヌ・ヴィオネ《デイ・ドレス》 ガブリエル・シャネル《イヴニング・ドレス》 ガブリエル・シャネル《イヴニング・ドレス》 ガブリエル・シャネル《イヴニング・ドレス》 マックス・スニシェク《ドレス、テキスタイル「ビール」》 マックス・スニシェク《ドレス、テキスタイル「エロス」》 ラウル・デュフィ《ダンス》 ラウル・デュフィ《狩猟》 ラウル・デュフィ《テキスタイル「ヨーロッパの果物」》 フェリーチェ・リックス=ウエノ《テキスタイル「クレムリン」》 ポール・イリブ『ポール・ボワレのドレス』 ジョルジュ・ルバップ『ポール・ボワレの作品集』 ソニア・ドロネ『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』より8点 『婦人グラフィ』1923年7月、1928年8月、1925年8月 『アール・デコラシオン』1911年4月 『レ・モード』1909年6月、1911年5月、1912年2月、1912年5月、1913年5月 『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』1912年12月 『フェミナ』1912年2月、1927年3月、1923年4月、1926年4月、1926、7月、1927年2月 『ヴォーグ(フランス版)』1924年11月 『アール・ゲー・ボーテ』1931年10月 豊口克平『標準家具』 『レペルトワール・ドウ・ゲー・モデルヌ』vol.1からvol.5 『女性の生活』より版画13点 『モードウィーン1914/15』より版画8点 マリア・リカルツ=シュトラウスよりデザイン画2点 『ガゼット・デュ・ボン・トン』よりファッションプレート23点
「生誕600年記念 雪舟と狩野派」展 山口県立美術館 令和4年9月16日～10月16日	狩野伊川院栄信《富士三保清見寺図》江戸時代
特別展「鷗外遺産～直筆資料が伝える心の軌跡」 文京区立森鷗外記念館 令和4年10月22日～令和5年1月29日	大下藤次郎『ぬれきぬ』
「マリー・ローランサンとモード」展 Bunkamura ザ・ミュージアム 令和5年2月14日～4月9日 (京都市京セラ美術館 令和5年4月16日～6月11日) (名古屋市美術館 令和5年6月24日～9月3日)	ポール・ボワレ《ドライブ用コート》 ポール・ボワレ《カフタン・コート(イスファハン)》 マドレーヌ・ヴィオネ《イブニング・ドレス、スリッパ、ストール》 ジャンヌ・ランヴァン《ドレス》 マーティン・ムンカッチ《ルシール・プロコウ》 マーティン・ムンカッチ《ハーパース・バザー 1936年6月号》 ホルスト・P・ホルスト《白い袖、バリ》 『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』 『ヴォーグ』1929年6月 『ヴォーグ』1930年11月 『ガゼット・デュ・ボン・トン』よりファッションプレート17点

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ 入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	11,191	1,362	1,155	0	2,517			1,510	1,510
5月	17,737	3,044	2,495	34	5,573			4,330	4,330
6月	11,875	0	486	0	486			1,627	1,627
7月	10,854	1,388	1,111	164	2,663			1,186	1,186
8月	13,421	1,981	1,824	46	3,851			1,676	1,676
9月	11,936	625	0	0	625			1,454	1,454
10月	13,926	1,436	0	0	1,436			1,672	1,672
11月	15,720	1,885	1,822	68	3,775			1,853	1,853
12月	13,675	0	547	400	947			3,414	3,414
1月	9,148	0	1,409	72	1,481			982	982
2月	11,214	0	813	27	840			1,558	1,558
3月	11,788	0	755	16	771			1,691	1,691
合計	152,485	11,721	12,417	827	24,965	0	0	22,953	22,953

※大・小ホール耐震改修工事期間(令和3年12月から令和5年5月)

2. 観覧者数

	企画展						
	前売券	当日券			ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	団体・割引	無料券			
4月	49	159	526	125	280	223	1,362
5月	61	338	1,217	264	376	788	3,044
6月	0	0	0	0	0	0	0
7月	42	179	300	161	296	410	1,388
8月	59	305	460	169	310	678	1,981
9月	4	62	172	150	101	136	625
10月	17	167	333	379	227	313	1,436
11月	53	167	524	374	200	567	1,885
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0
合計	285	1,377	3,532	1,622	1,790	3,115	11,721

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	49	2	111	309	134	325	225	1,155
5月	61	2	203	801	264	376	788	2,495
6月	0	2	90	183	34	146	31	486
7月	40	0	122	172	156	275	346	1,111
8月	59	2	257	379	174	310	643	1,824
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	52	1	156	466	385	199	563	1,822
12月	0	0	98	160	60	155	74	547
1月	0	1	298	657	144	211	98	1,409
2月	0	0	124	177	134	173	205	813
3月	0	2	195	174	74	158	152	755
合計	261	12	1,654	3,478	1,559	2,328	3,125	12,417

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
竹久夢二と乙女たちーあこがれの美人、ときめきのモダンライフー	令和4年4月9日(土)~5月30日(月)	46	4,406
平川紀道・野村康生 既知の宇宙 未知なる日常	令和4年7月2日(土)~8月29日(月)	51	3,369
交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー	令和4年9月17日(土)~11月28日(月)	63	3,946
合計			11,721

4. 特別展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
松江泰治 JP-32	令和4年7月23日(土)~8月29日(月)	35	2,142
追悼 森英恵	令和4年12月22日(木)~令和5年1月29日(日)	29	1,692
受贈記念 彫刻家・澄川喜一の仕事	令和5年2月4日(土)~4月3日(月)	51	1,710
合計			5,544

5. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
803	804	788	773	770	763	754	747	715	707	714	715

収支概要

■収支概要

センター運営費	19,290
指定管理委託料	373,910
企画展事業費	58,476
コレクション展事業費	3,923
調査研究・研修費	2,363
美術作品収集費	0
センター利用促進事業費	1,000
合 計	458,962

企画展	4,524
常設展	1,009
パスポート	1,840
目的外使用料	3,082
合 計	10,455

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日

島根県条例第51号

改正 平成17年7月19日条例第39号

平成26年3月18日条例第1号

平成31年3月8日条例第1号

平成31年4月26日条例第27号

令和2年3月24日条例第10号

島根県芸術文化センター条例をここに公布する。

島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則で定める書類を添付して、知事が定める期日までに知事に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事はその指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命ずることができる。

- 2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事の権限とする。
- 3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日（美術館にあっては、毎週火曜日）
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前日までに指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者（次に掲げる者を除く。）は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展（常設展示室における展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 知事は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、知事が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

（知事が別に定める日＝平成17年10月8日）

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年条例第1号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年条例第1号）抄

改正 平成31年4月26日条例第27号

(施行期日)

1 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

(平31条例27・一部改正)

附 則 (平成31年条例第27号)

この条例は、元号を改める政令(平成31年政令第143号)の施行の日から施行する。

(施行の日=令和元年5月1日)

附 則 (令和2年条例第10号)抄

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

(平26条例1・平31条例1・一部改正)

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 32,090	円 42,790	円 53,490	円 64,200	円 85,600	円 107,000
		土、日曜日 及び休日	38,510	51,360	64,190	77,040	102,720	128,410
	1階席	平日	21,390	28,520	35,660	42,790	57,060	71,330
		土、日曜日 及び休日	25,670	34,230	42,790	51,360	68,470	85,600
小ホール		平日	8,550	11,400	14,250	17,110	22,820	28,520
		土、日曜日 及び休日	10,260	13,670	17,110	20,530	27,370	34,230
スタジオ1			4,830	6,440	8,060	9,670	12,900	16,140
スタジオ2			980	1,320	1,660	1,980	2,650	3,330
大ホール大楽屋1			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール大楽屋2			2,150	2,880	3,610	4,330	5,780	7,240
大ホール中楽屋1			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋2			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋3			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール中楽屋4			860	1,160	1,440	1,730	2,320	2,900
大ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
大ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール中楽屋1			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール中楽屋2			790	1,040	1,320	1,580	2,110	2,650
小ホール小楽屋1			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
小ホール小楽屋2			600	810	1,000	1,220	1,620	2,030
多目的ギャラリー			4,000	5,340	6,690	8,020	10,700	13,380

備考

1 入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額(入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額)の区分に応じた額を加算した額とする。

ア 3,000円以下のもの 10割相当額(徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあつては、5割相当額)

イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額

ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額

2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。

- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。
- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（（2）の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名 印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

住所〒

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

申請者 氏名

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計		円	円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

【所在地】 島根県益田市有明町5番15号

【設計期間】 2001年4月～2002年7月

【工事期間】 2002年11月～2005年3月

【設計】 内藤廣建築設計事務所

【構造設計】 空間工学研究所

【設備設計】 明野設備研究所

【コンサルタント】

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

【敷地面積】 36,564.16㎡

【建築面積】 13,887.00㎡

【延床面積】 19,199.6㎡

1階：13,165.30㎡、2階：2,988.68㎡

地下1階：3,045.66㎡

【建蔽率】 38.4%（許容：60%）

【容積率】 52.6%（許容：200%）

【用途】 美術館・劇場

【規模】 地上2階 地下1階

【最高高さ】 32.24m

【構造】 RC造、一部PC、S造

【設備】

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

【施工】

●建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：栗原工業

●舞台機構：森平舞台機構

●舞台照明：丸茂電機

●舞台音響：ヤマハサウンドテック

●非常用発電：東芝

●エレベーター：東芝エレベーター

●浄化槽：アルファプランニングワーク

●外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：田部、大畑建設

●アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業

製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）

＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル

製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫3	94.9㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール	
●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

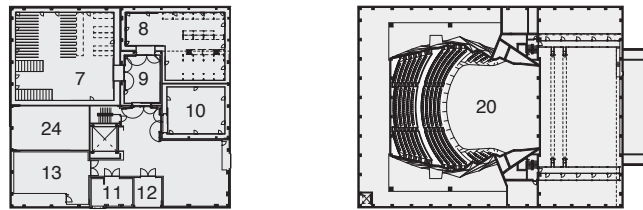
小ホール	
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

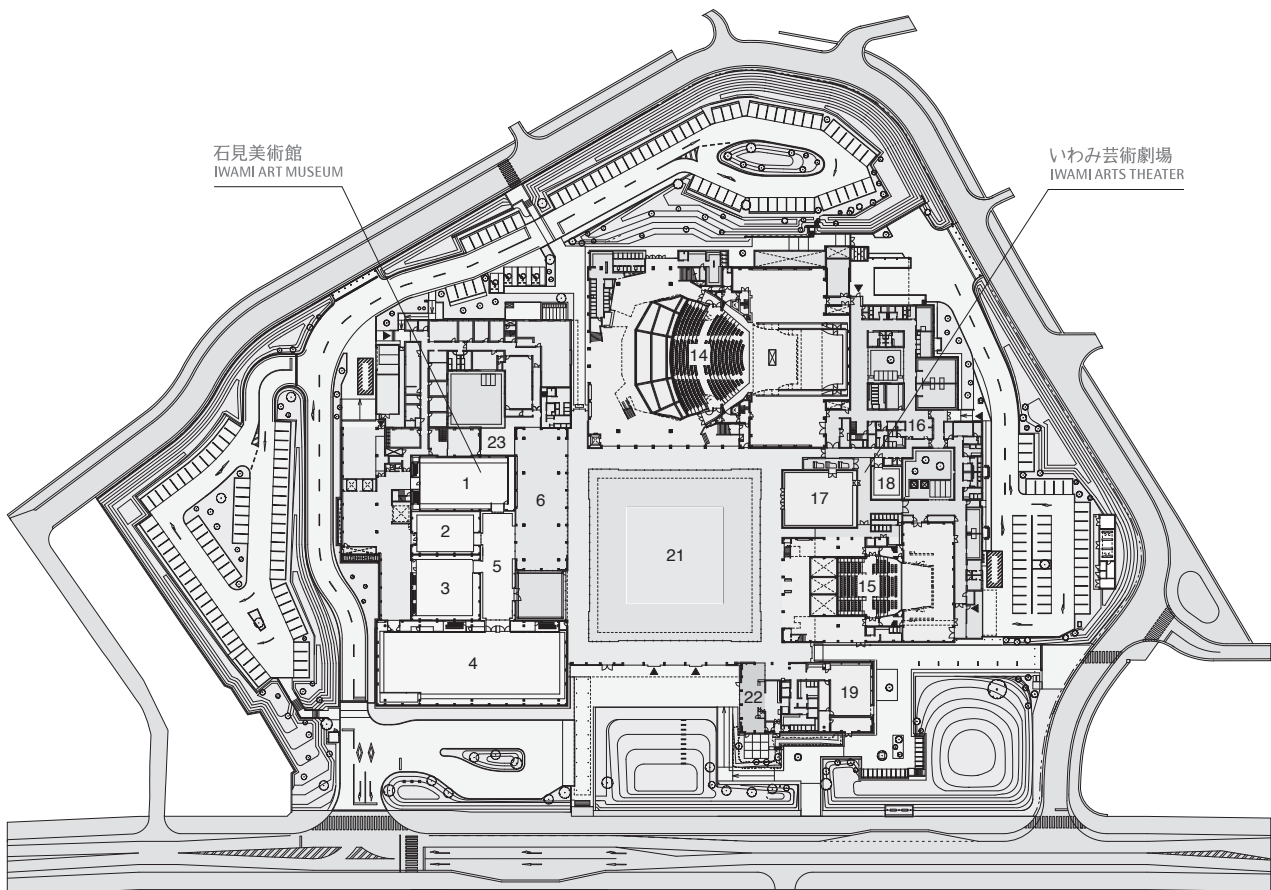
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- | | |
|-----------|-----------|
| 1: 展示室 A | 8: 収蔵庫 2 |
| 2: 展示室 B | 9: 収蔵庫前室 |
| 3: 展示室 C | 10: 一時保管庫 |
| 4: 展示室 D | 11: 修復室 |
| 5: 展示前室 | 12: 隔離室 |
| 6: 美術館ロビー | 13: 写真室 |
| 7: 収蔵庫 1 | 24: 収蔵庫 3 |

いわみ芸術劇場

- | |
|----------------|
| 14: 大ホール |
| 15: 小ホール |
| 16: 楽屋 |
| 17: スタジオ 1 |
| 18: スタジオ 2 |
| 19: 多目的ギャラリー |
| 20: 大ホール 2F 客席 |

- | |
|----------------|
| 21: 中庭広場 |
| 22: レストラン |
| 23: ミュージアムショップ |

運営組織体制

施設名称

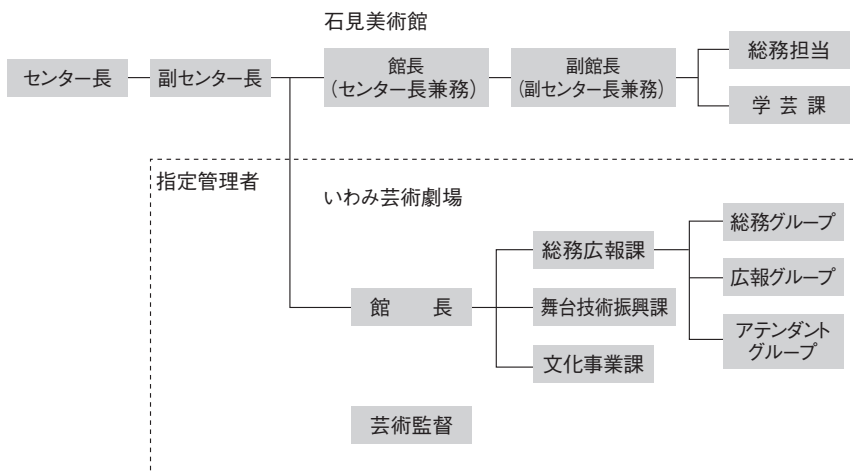
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(11名)

島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徒郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：9：30-18：00(展示室への入場は17：30まで)
 いわみ芸術劇場：9：00-22：00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

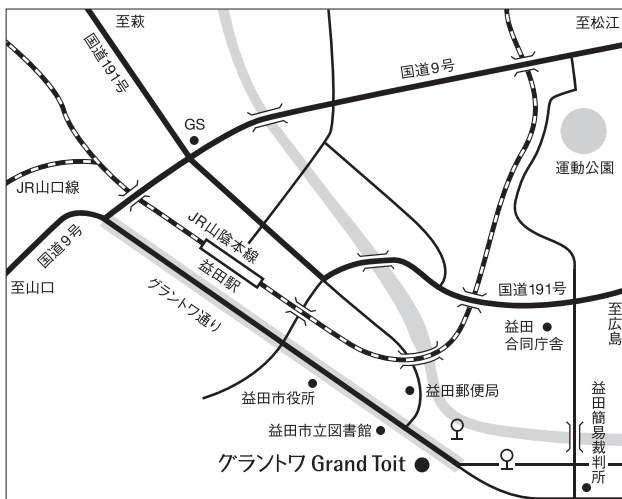
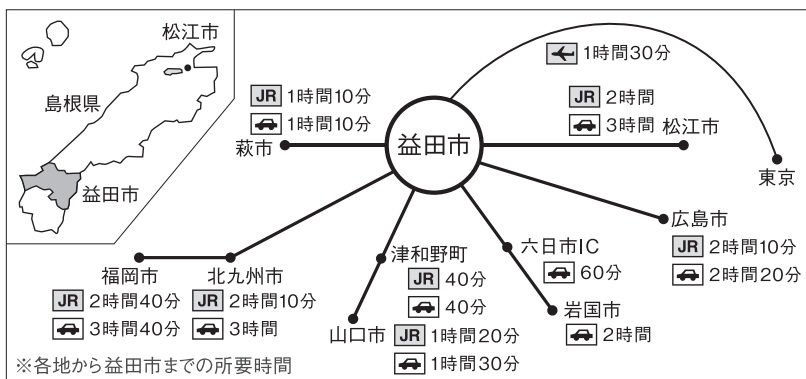
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 *()内は20名以上の団体料金 *企画展により料金が異なる場合あり
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(240台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



令和5年12月25日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : grandtoit@cul-shimane.jp <https://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM